令和5年 第4回定例会

高山村議会会議録

令和5年12月4日 開会

令和5年12月8日 閉会

高山村議会

令和五年第四回〔十二月〕定例会

令和五年第四回〔十二月〕定例会

令和五年第四回〔十二月〕定例会

令和五年第四回〔十二月〕定例会

令和五年第四回〔十二月〕定例会

高山村議会会議録

高山村議会会議録

高山村議会会議録

高山村議会会議録

高山村議会会議録

令和5年第4回高山村議会定例会会議録目次

第 1 号 (12月4日)

○議事日程	1
○本日の会議に付した事件	2
○出席議員	2
○欠席議員	2
○地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名	2
○事務局職員出席者	2
○開会の宣告	3
○村長挨拶	3
○開議の宣告	4
○会議録署名議員の指名	4
○会期の決定	4
○承認第1号の上程、説明、質疑、討論、採決	4
○諮問第1号の上程、説明、採決	6
○議案第1号の上程、説明、質疑、討論、採決	8
○議案第2号～議案第6号の一括上程、説明	9
○議案第7号～議案第8号の一括上程、説明	12
○議案第9号の上程、説明	13
○議案第10号の上程、説明	14
○議案第11号～議案第12号の一括上程、説明	16
○議案第13号の上程、説明	18
○議案第14号の上程、説明	19
○議案第15号～議案第22号の一括上程、説明	20
○一般質問	22
6番 後藤明宏君	22
9番 平形富二夫君	24
8番 後藤肇君	27
5番 飯塚武久君	30

1 番 渡 邊 裕 治 君	3 3
○休会について	3 8
○散会の宣告	3 8

第 2 号 (12月8日)

○議事日程	4 1
○本日の会議に付した事件	4 2
○出席議員	4 2
○欠席議員	4 2
○地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名	4 2
○事務局職員出席者	4 2
○開議の宣告	4 3
○委員会報告	4 3
○議案第2号～議案第6号の質疑、討論、採決	4 6
○議案第7号～議案第8号の質疑、討論、採決	4 8
○議案第9号の質疑、討論、採決	4 9
○議案第10号の質疑、討論、採決	4 9
○議案第11号～議案第12号の質疑、討論、採決	5 0
○議案第13号の質疑、討論、採決	5 1
○議案第14号の質疑、討論、採決	5 1
○議案第15号～議案第22号の質疑、討論、採決	5 5
○委員会の閉会中継続調査(審査)申出書について	6 6
○議員派遣について	6 6
○閉会の宣告	6 6
○署名議員	6 7

令和5年12月4日（月曜日）

（第1号）

令和5年第4回高山村議会定例会

議事日程(第1号)

令和5年12月4日(月)午前10時開会

- 日程第 1 会議録署名議員の指名
- 日程第 2 会期の決定
- 日程第 3 承認第 1号 専決処分の承認を求めることについて(令和5年度高山村一般会計補正予算(第5号))
- 日程第 4 諮問第 1号 人権擁護委員候補者の推薦について
- 日程第 5 議案第 1号 吾妻環境施設組合の規約変更に関する協議について
- 日程第 6 議案第 2号 高山村議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について
- 日程第 7 議案第 3号 高山村特別職の職員の給与等に関する条例の一部改正について
- 日程第 8 議案第 4号 職員の給与に関する条例の一部改正について
- 日程第 9 議案第 5号 高山村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について
- 日程第10 議案第 6号 職員の育児休業等に関する条例の一部改正について
- 日程第11 議案第 7号 高山村旅費支給条例の一部改正について
- 日程第12 議案第 8号 高山村消防団条例の一部改正について
- 日程第13 議案第 9号 高山村国民健康保険税条例の一部改正について
- 日程第14 議案第10号 高山村保育所の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 日程第15 議案第11号 高山村簡易水道事業の設置等に関する条例の制定について
- 日程第16 議案第12号 高山村水をきれいにする事業の設置等に関する条例の制定について
- 日程第17 議案第13号 高山村道路占用料徴収条例の一部改正について
- 日程第18 議案第14号 指定管理者の指定について
- 日程第19 議案第15号 令和5年度高山村一般会計補正予算(第6号)
- 日程第20 議案第16号 令和5年度高山村国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
- 日程第21 議案第17号 令和5年度高山村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

- 日程第 2 2 議案第 1 8 号 令和 5 年度高山村介護保険特別会計補正予算（第 1 号）
日程第 2 3 議案第 1 9 号 令和 5 年度高山村土地開発事業特別会計補正予算（第 1 号）
日程第 2 4 議案第 2 0 号 令和 5 年度高山村農業用水事業特別会計補正予算（第 1 号）
日程第 2 5 議案第 2 1 号 令和 5 年度高山村簡易水道事業特別会計補正予算（第 2 号）
日程第 2 6 議案第 2 2 号 令和 5 年度高山村水をきれいにする事業特別会計補正予算（第 2 号）
日程第 2 7 一般質問
-

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

出席議員（10名）

1 番	渡 邊 裕 治 君	2 番	平 形 玉 緒 君
3 番	唐 澤 徳 治 君	4 番	松 井 陽 威 君
5 番	飯 塚 武 久 君	6 番	後 藤 明 宏 君
7 番	佐 藤 晴 夫 君	8 番	後 藤 肇 君
9 番	平 形 富二夫 君	10 番	山 口 英 司 君

欠席議員（なし）

地方自治法第 1 2 1 条の規定により説明のため出席した者の職氏名

村 長	後 藤 幸 三 君	副 村 長	平 形 郁 雄 君
教 育 長	山 口 廣 君	総 務 課 長	後 藤 好 君
会計管理者兼 税務会計課長	本 間 尚 也 君	住 民 課 長	都 筑 喜久雄 君
保健みらい 課 長	割 田 信 一 君	農 林 課 長	平 形 英 俊 君
建 設 課 長	飯 塚 優一郎 君	地 域 振 興 課 長	林 隆 文 君
教 育 課 長	金 井 等 君		

事務局職員出席者

議会事務局長 小 池 正 浩 書 記 林 大 生

開会 午前10時00分

◎開会の宣告

○議長（山口英司君） 公私ともに大変お忙しいところ、誠にご苦労さまです。

ただいまから、令和5年第4回高山村議会定例会を開会します。

◎村長挨拶

○議長（山口英司君） 最初に、村長より議会招集の挨拶をお願いします。

後藤村長。

○村長（後藤幸三君） 皆さん、おはようございます。

令和5年第4回高山村議会定例会の開会に当たり、議会招集の挨拶を申し上げます。

公私ともにご多用のところ、議員全員のご出席を賜り、ここに高山村議会定例会が開催されますことに、心より感謝申し上げます。

今月1日から10日まで、冬の交通安全運動が行われております。吾妻警察署管内では、ここ2年近く死亡事故はゼロで推移してはいましたが、11月に入り、東吾妻町で1件の死亡事故が発生してしまいました。

また、最近の傾向といたしまして、人身事故の件数は増加傾向にあり、同時に高齢者による事故も増加傾向にあるとの報告を受けているところでございます。事故は起こされた方も起こした方も、またその家族までもが大きなダメージを受けます。

師走を迎え慌ただしい季節を迎えておりますが、安全運転に心がけ交通事故を起こさないよう十分留意していただければと思っております。

今年は、新型コロナウイルス感染症も5類に移行ということもあり、一応の落ち着きを取り戻したように思われます。人の動きも活発になり、経済活動もコロナ前に戻りつつあるのではないかと感じております。

これを追い風に、道の駅中山盆地には多くのお客様に訪れていただけるのではないかと期待をしているところでございます。

さて、本定例会への提出議案等でございますが、承認、諮問それぞれ1件、議案が22件と

なっております。ご審議いただきますようお願い申し上げ、議会招集の挨拶とさせていただきます。

◎開議の宣告

○議長（山口英司君） 本日の会議を開きます。

直ちに日程に入ります。

◎会議録署名議員の指名

○議長（山口英司君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第125条の規定によって、7番、佐藤晴夫議員及び8番、後藤肇議員を指名します。

◎会期の決定

○議長（山口英司君） 日程第2、会期の決定を議題とします。

お諮りします。本定例会の会期は、本日から12月8日までの5日間としたいと思います。ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山口英司君） 異議なしと認めます。

したがって、本定例会の会期は本日から12月8日までの5日間と決定しました。

◎承認第1号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（山口英司君） 日程第3、承認第1号 専決処分の承認を求めることについて（令和

5年度高山村一般会計補正予算（第5号））を議題とします。

本件について説明を求めます。

後藤村長。

○村長（後藤幸三君） 承認第1号 専決処分の承認を求めることについて（令和5年度高山村一般会計補正予算（第5号））について説明を申し上げます。

本補正は、議会常任委員会における視察研修費用と花火打ち上げ費用となります。いずれも早期に準備等を進める必要があり、地方自治法第179条第1項の規定により、議会を招集するいとまが、余裕がないことが明らかであると認め、令和5年10月20日に専決処分を行いました。これを報告し、承認を求めるものでございます。

補正概要について申し上げます。

今回の補正は、既定の予算に245万2,000円を追加し、予算総額を32億3,697万5,000円とするものでございます。

議会費につきましては、村でも現在検討中である庁舎建設、中心地づくり、牧場における緬羊の放牧の先進地視察を行うため、岩手・秋田両県への旅費など必要経費を計上させていただいたものでございます。

なお、視察は私と職員4名も同行させていただき、11月8日から10日の日程で行われました。

商工費については、ここ数年道の駅中山盆地で開催されている収穫感謝祭に合わせ、花火の打ち上げを行っておりますが、今年度は夏のふるさと祭りでの花火大会が台風のため中止となってしまいましたので、収穫感謝祭での花火の打ち上げ数を増やしたいということで、増額補正したものでございます。

なお、収穫感謝祭における花火の打ち上げは、11月19日に開催いたしました。収穫感謝祭はコロナ一過も相まって、多くの人にお越しいただき、盛況であるものと感じておるところでございます。

以上、ご承認くださいますようお願い申し上げます、説明とさせていただきます。

○議長（山口英司君） これから質疑を行います。

〔「質疑なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山口英司君） 質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

〔「討論なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山口英司君） 討論なしと認めます。

これから承認第1号 専決処分の承認を求めることについて（令和5年度高山村一般会計補正予算（第5号））を採決します。

本件は承認することに賛成の方は挙手願います。

〔挙手多数〕

○議長（山口英司君） 挙手多数です。

したがって、承認第1号は承認することに決定しました。

◎諮問第1号の上程、説明、採決

○議長（山口英司君） 日程第4、諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦についてを議題とします。

本件について説明を求めます。

後藤村長。

○村長（後藤幸三君） 諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦についてご説明を申し上げます。

人権擁護委員は法務大臣の委嘱を受け、人権相談、人権啓発、人権救済等の人権擁護活動に従事することとなります。

令和3年4月から1期3年にわたり、人権擁護委員としてご尽力くださいました田村輝行さんが、令和6年3月31日で任期満了となります。後任に、尻高1443番地の佐藤章彦さんを人権擁護委員に推薦いたしたいと思っております。

佐藤さんは東京農業大学第二高等学校を卒業後、昭和53年に高山村役場に奉職され、その間において税務課長、教育課長、会計管理者等の要職に就かれ、令和2年に42年間の職務を全うされ定年退職されました。

佐藤さんにおかれましては、心身ともに健康であり、人格、見識ともに高く、広く社会の実情を把握し、人権擁護委員として適任であると考え、候補者として推薦したいと考えております。

なお、この人権擁護委員の候補者の推薦に当たりましては、人権擁護委員法第6条第3項の規定により、議会の意見を聞いて推薦しなければならないこととなっております。よって

議会の意見を求めるものでございます。

以上、よろしく取り扱われることをお願いいたしまして、提案理由の説明とさせていただきます。

○議長（山口英司君） お諮りします。本件は人事案件ですので質疑、討論を省略し、直ちに採決に入りたいと思います。ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山口英司君） 異議なしと認めます。

これから諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦についてを採決します。

この採決は無記名投票で行います。

議場の出入口を閉めます。

〔議場閉鎖〕

○議長（山口英司君） ただいまの出席議員数は9人です。

次に、立会人を指名します。

会議規則第32条第2項の規定によって、立会人に1番、渡邊裕治議員、2番、平形玉緒議員、3番、唐澤徳治議員を指名します。

投票箱を点検します。立会人は点検をお願いします。

〔投票箱点検〕

○議長（山口英司君） 異状なしと認めます。

投票用紙を配ります。念のため申し上げます。本件について適任と認めることに賛成の方は賛成と、反対の方は反対と記載願います。

なお、賛否を表明しない投票及び賛否が明らかでない投票は反対とみなします。

〔投票用紙配付〕

○議長（山口英司君） 投票用紙の配付漏れはありませんか。

〔発言する者なし〕

○議長（山口英司君） 配付漏れなしと認めます。

ただいまから投票を行います。1番議員から順番に投票願います。

〔投票〕

○議長（山口英司君） 投票漏れはありませんか。

〔発言する者なし〕

○議長（山口英司君） 投票漏れなしと認めます。

投票を終わります。

開票を行います。立会人は開票の立会いをお願いします。

〔開 票〕

○議長（山口英司君） 投票の結果を報告します。

投票総数 9 票、有効投票 9 票、無効投票 0 票。

有効投票のうち、賛成 9 票、反対 0 票。

以上のとおり賛成が多数です。

したがって、諮問第 1 号は適任とすることに決定しました。議場の閉鎖を解きます。

〔議場閉鎖〕

◎議案第 1 号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（山口英司君） 日程第 5、議案第 1 号 吾妻環境施設組合の規約変更に関する協議についてを議題とします。

本件について説明を求めます。

後藤村長。

○村長（後藤幸三君） 議案第 1 号 吾妻環境施設組合の規約変更に関する協議についてご説明を申し上げます。

現在建設用地である国有地の払下げに向け、前橋財務事務所と協議中ですが、規約の中に施設設置後の管理運営についても明記すべきとの指導を受けたため、当該箇所について変更するものでございます。当初は、用地取得前に管理運営について明記することは適当でないと考え、あえて記載を避けておりましたが、運営の主体が明確となるように追加するものでございます。

原案のとおり可決くださいますようお願い申し上げ、説明といたします。

○議長（山口英司君） これから質疑を行います。

〔「質疑なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山口英司君） 質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

〔「討論なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山口英司君） 討論なしと認めます。

これから議案第1号 吾妻環境施設組合の規約変更に関する協議についてを採決します。

本件は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

[挙手多数]

○議長（山口英司君） 挙手多数です。

したがって、議案第1号は原案のとおり可決されました。

◎議案第2号～議案第6号の一括上程、説明

○議長（山口英司君） 日程第6、議案第2号 高山村議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正についてから日程第10、議案第6号 職員の育児休業等に関する条例の一部改正についてまでの5議案を一括議題とします。

本件について説明を求めます。

後藤村長。

○村長（後藤幸三君） 議案第2号から議案第6号まで、一括して説明を申し上げます。

人事院は本年8月7日に国家公務員の給与について勧告を行いました。民間における賃金の引上げを反映して、初任給及び若年層の俸給月額に重点を置いて引き上げることとし、特別給についても引き上げることとなりました。特に月例給の引上げ率は、民間における大幅な賃上げを反映して、過去5年の平均と比べて約10倍の上げ幅とされているようでございます。

群馬県人事委員会においても、10月10日に県議会、県知事に対して同様の勧告がなされているところであり、本村においてもこの勧告のとおり実施したいというものでございます。

勧告の概要でございますが、月例給の引上げ率は平均改定率で0.9%と、民間における大幅な賃上げを反映した改定率となっております。また、特別給では支給月数を0.1か月分引き上げるというものでございます。

また、地方公務員法の改正により、会計年度任用職員へ勤勉手当が支給されることとなりました。これを受け当村においても、会計年度任用職員への勤勉手当を支給することとし、所要の条例改正を行うものでございます。

その他各議案の内容についても総務課長に説明させますので、原案のとおり可決くださいますようお願い申し上げます、説明とさせていただきます。

○議長（山口英司君） 後藤総務課長。

○総務課長（後藤 好君） 議案第2号から議案第6号について議案ごとに補足説明をさせていただきます。

最初に、議案第2号 高山村議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について説明させていただきます。

14ページをご覧ください。

第1条は、期末手当の支給率を年間で0.1月分引き上げるものとなります。既に6月分は支給済みとなっておりますので、12月支給分において0.1月分を支給するものでございます。

第2条は、来年度からの期末手当の支給率を定めるのもので、年間の引上げ0.1月分を平準化して支給するための改正となります。

続いて16ページをご覧ください。

議案第3号 高山村特別職の職員の給与等に関する条例の一部改正については、議案第2号と同様の改正内容となっております。

続きまして、議案第4号 職員の給与に関する条例の一部改正について説明させていただきます。

18ページをご覧ください。

第1条の改正中、第18条第2項の改正は、期末手当の支給率を年間で0.05月分引き上げるものとなります。順次、一般職員、特定幹部職員の期末手当の支給率を改正するもので、同条第3項の改正は、再任用職員に適用する場合の読替規定となっております。

第19条第2項第1号の改正は、勤勉手当の支給率を年間で0.05月分引き上げるものとなります。期末手当同様、順次、一般職員、特定幹部職員の勤勉手当の支給率を改正するもので、同項第2号の改正は、順次、一般再任用職員、特定幹部再任用職員の勤勉手当の率を改めるものとなっております。

別表第1、行政職給料表の改正では、1級の平均改定率は5.1%、2級は2.5%、3級は0.8%、4級以上は0.3%と村長の説明にもありましたように若年層の俸給月額に重点を置いた改正となっております。

また、本改定は4月に遡って適用するものとなっております。

23ページをご覧ください。

第2条の改正につきましては、第18条第2項では期末手当について、第19条第2項第1号では勤勉手当について、それぞれ翌年度以降の支給を平準化するための支給率の改正となっております。

第3条の改正ですが、これは給与勧告とは別の改正となります。

刑法等の一部を改正する法律により、刑の種類である「懲役」と「禁錮」を一本化して「拘禁刑」とし、その施行日を令和6年6月1日とする閣議決定がなされました。これに伴い、期末手当の支給制限を「禁錮以上」とあるものを「拘禁刑以上」と改めるものとなります。

なお、この改正の施行日は、刑法等の一部を改正する法律の施行日となります。

続きまして、議案第5号 高山村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について説明させていただきます。

26ページをご覧ください。

第1条の改正については、職員同様、期末手当の支給率を年間で0.05月分引け上げるものとなります。

第2条の改正中、第2条第1項の改正は、会計年度任用職員に支給することができる手当に勤勉手当を加え、勤勉手当の支給を可能とする改正となります。

この改正は令和6年4月1日から施行するもので、来年6月から会計年度任用職員にも勤勉手当が支給されることとなります。

第9条第1項の改正は、翌年度以降の期末手当について、平準化を図った支給をするための支給率の改定となっております。

第9条の2は、新たに加える条文で、フルタイム会計年度任用職員に勤勉手当を支給する場合の要件などを規定するものです。任期の定めが6月以上の者が勤勉手当の支給対象となっております。

また、勤勉手当の支給率は規則で定めることとなりますが、期末手当に倣い職員同様とする予定でございます。

27ページをご覧ください。

第17条の2も新たに加える条文で、パートタイム会計年度任用職員に勤勉手当を支給する場合の読替規定となっております。

続きまして、議案第6号 職員の育児休業等に関する条例の一部改正について説明させていただきます。

29ページをご覧ください。

第7条第2項の改正は、当該括弧書きを削り、育児休業をしているパートタイム会計年度任用職員であっても、基準日前6月の間に勤務した時間があれば期末手当の支給を可能とするものとなります。

第8条第1項の改正は、第7条第2項で削除した会計年度任用職員の定義を定めるものとなります。

以上、大変雑駁ではございましたが、議案第2号から議案第6号までの補足説明とさせていただきます。

○議長（山口英司君） 本件については議案調査としたいと思います。ご異議ありませんか。
〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山口英司君） 異議なしと認め、議案調査とすることに決定しました。

◎議案第7号～議案第8号の一括上程、説明

○議長（山口英司君） 日程第11、議案第7号 高山村旅費支給条例の一部改正についてから日程第12、議案第8号 高山村消防団条例の一部改正についてまでの2議案を一括議題とします。

本件について説明を求めます。

後藤村長。

○村長（後藤幸三君） 議案第7号及び議案第8号について、一括して説明を申し上げます。
議案第3号の補足説明の中で触れさせていただきましたが、刑法等の一部を改正する法律の施行に伴い、条文中の「禁錮」を「拘禁刑」と改めるものとなります。議案第7号は、旅費の支給を、議案第8号は消防団員となられる者の資格を、それぞれ制限する条文の改正となっております。原案のとおり可決くださいますようお願い申し上げます、説明とさせていただきます。

○議長（山口英司君） 本件については議案調査としたいと思います。ご異議ありませんか。
〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山口英司君） 異議なしと認め、議案調査とすることに決定しました。

◎議案第9号の上程、説明

○議長（山口英司君） 日程第13、議案第9号 高山村国民健康保険税条例の一部改正についてを議題とします。

本件について説明を求めます。

後藤村長。

○村長（後藤幸三君） 高山村国民健康保険税条例の一部改正について説明を申し上げます。

国民健康保険法等の一部改正が令和6年1月1日に施行されることに伴い、高山村国民健康保険税条例の一部を改正する必要が生じたので、令和6年1月1日の施行分につきましては条例改正するものでございます。

改正の内容につきましては、税務会計課長に説明させますので、原案のとおり可決くださいますようお願い申し上げます、説明といたします。

○議長（山口英司君） 本間会計管理者。

○会計管理者兼税務会計課長（本間尚也君） お世話になります。それでは私より、高山村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の内容についてご説明申し上げます。

先ほど村長の提案理由にありましたように、今回の改正は国民健康保険法等の一部改正が行われたことにより、高山村国民健康保険税条例の一部を改正するものでございます。

それでは議案書35ページ、新旧対照表24ページからご覧いただきたいと思っております。

まず、今回の改正の概要について説明いたします。

今回の条例改正では、出産される国民健康保険の被保険者の国民健康保険税の所得割額と均等割額が、出産予定月の1か月前から4か月間、双子以上の場合は出産予定月の3か月前から6か月間、免除されるものです。この免除に当たり所得制限はなく、妊娠85日、4か月以上の分娩で、死産、流産、人工妊娠中絶、早産の場合も対象となります。

なお、今現在国保加入世帯に出産予定者はおりませんので、今のところ国保税の影響はございません。

次に、第23条第3項について説明いたします。

この改正は、先ほど申し上げた出産される被保険者の免除額の計算方法に関する条項を新たに設けるものです。

基本的な単体出産を例に申し上げますと、出産被保険者の年間の所得割額と均等割額の合

計に、12分の4を掛けた金額を免除いたします。社会保険加入などにより国保資格を有しない月は除いて計算し、また年度をまたぐ場合には各年度で月数を案分し、免除いたします。

次に、第24条の3から24条の5について説明いたします。

第24条の3は、保険税免除のための届出に関する規定でございます。24条の4及び24条の5は、新たに第24条の3を追加することによる条番号の整理でございます。

次に、附則第14項及び第15項について説明します。

この改正は新たに第24条の3を追加したことにより、従来の第24条の3が24条の4に変更となったため、引用している条番号の整理を行うものでございます。

次に、37ページをご覧ください。

附則でございますが、この条例は令和6年1月1日から施行され、令和6年1月以降の国民健康保険税に適用し、令和5年12月以前の期間につきましては、なお従前の例として扱うものでございます。

補足説明は以上でございます。

○議長（山口英司君） 本件については議案調査としたいと思います。ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山口英司君） 異議なしと認め、議案調査とすることに決定しました。

◎議案第10号の上程、説明

○議長（山口英司君） 日程第14、議案第10号 高山村保育所の設置及び管理に関する条例の一部改正についてを議題とします。

本件について説明を求めます。

後藤村長。

○村長（後藤幸三君） 高山村保育所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について提案理由の説明を申し上げます。

令和元年10月1日に、子ども・子育て支援法の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、高山村保育所で保育の実施を行った児童からは保育料を徴収しない条例改正を行いました。国基準以上の保育料が別表に残っているため改めて改正し、また国の関連法令に合わせた字句の改正を行うとともに、一時預かり保育の条文を加える一部改正となっております。

改正の内容につきましては、教育課長に説明させますので、慎重審議の上、原案のとおり可決くださいますようお願い申し上げ、提案理由の説明といたします。

○議長（山口英司君） 金井教育課長。

○教育課長（金井 等君） お世話になります。私からは、高山村保育所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の内容について説明いたします。

先ほど村長の提案理由にもありましたように、令和元年10月1日に、子ども・子育て支援法の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、本条例の改正を行ったところですが、改正されていない部分や上位法令と記述が異なる部分がありましたので、改正し新たに一時預かり保育事業の実施について条文を加える改正をお願いするものです。

議案書39ページ、新旧対照表は29ページから32ページをご覧ください。

改正の内容は、1条中の設置について上位法令の記述に合わせ、「児童福祉施設として日々保護者の委託を受け、保育に欠ける幼児（小学校就学始期に達するまでの者をいう。）を保育するため、」これを「児童福祉法（昭和22年法律第164号）第35条第3項の規定により、保育を必要とする乳児及び幼児（以下「児童」という。）を日々保護者の下から通わせて保育を行うことを目的として、高山村」に改め、4条の本文中「幼児」を「児童」に、「保育に欠けることが明らかな者」を「子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）第20条の規定により同法第19条第1項第2号又は第3号の支給認定を受けた者」に改め、同条第1号中「やその悪質な疾病」を「又は悪性の疾患」に改めるものです。

また、保育認定を受けられない保護者に対して、緊急的保育や一時的保育が必要な場合、月14日程度を限度に一時預かりができる保育事業の実施を11条に加え、11条を12条に繰り下げたいものです。

別表の保育料の改正につきましては、保育料は国の政令で定める基準額を限度として、保護者の所得などを勘案して市町村が定めることとされており、国は法改正時に、3歳未満児の市町村民税非課税世帯と満3歳以上児の保育料をゼロ円と改正を行いましたが、本条例の改正がされていなかったことから、国基準の限度額同様ゼロ円に改正するものです。

また、別表備考中の一時預かり保育利用の規定につきましては、規則を別に制定したので削除するものとなっており、附則では本条例の施行期日を公布の日からとするものです。

原案のとおり可決くださいますようお願い申し上げ、提案理由の補足説明といたします。

○議長（山口英司君） 本件については議案調査としたいと思います。ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山口英司君） 異議なしと認め、議案調査とすることに決定しました。

◎議案第11号～議案第12号の一括上程、説明

○議長（山口英司君） 日程第15、議案第11号 高山村簡易水道事業の設置等に関する条例の制定についてから日程第16、議案第12号 高山村水をきれいにする事業の設置等に関する条例の制定についてまでの2議案を一括議題とします。

本件について説明を求めます。

後藤村長。

○村長（後藤幸三君） 議案第11号 高山村簡易水道事業の設置等に関する条例の制定及び議案第12号 高山村水をきれいにする事業の設置等に関する条例の制定について、一括して提案理由の説明を申し上げます。

簡易水道事業及び水をきれいにする事業は、令和6年度から従来の官庁会計から公営企業会計の複式簿記に移行することになり、地方公営企業法の一部を適用する新たな条例の制定が必要となりました。

詳細は建設課長に説明させますので、慎重審議の上、原案のとおり可決くださいますようお願い申し上げます、提案理由の説明といたします。

○議長（山口英司君） 飯塚建設課長。

○建設課長（飯塚優一郎君） お世話になります。私から、高山村簡易水道事業及び高山村水をきれいにする事業の設置等に関する条例の制定について補足の説明を申し上げます。

この2つの条例は、来年度から公営企業会計に移行する上下水道事業について、地方公営企業法の一部を適用するため、新たに条例を制定するものです。

本来、簡易水道や下水道事業は公営企業法の適用を受けない事業ですが、近年、施設の老朽化、人口減少による料金収入の減少等、公営企業をめぐる経営環境が厳しさを増している中で、各公営企業は自らの経営状況を正確に把握した上で、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に取り組むことが求められています。

そこで、経営成績や財務状態など、自らの経営状況のよりの確な把握が可能となるよう、法適用により公営企業会計へ移行することになります。

法適用については、会計方式、組織体制、職員の身分等を適用する全部適用と、会計方式

のみ適用する財務適用があります。本村では、管理者を村長とし新たな組織を設けず職員の身分等もそのまま公営企業会計を適用する、財務適用で行うこととしています。

それでは、高山村簡易水道事業の設置等に関する条例の制定についてから説明させていただきます。

議案書の43ページをご覧ください。

第1条では本条例の趣旨、第2条では水道事業の設置について規定しています。

第3条、法の財務規定の適用では、地方公営企業法の一部適用について、第4条、経営の基本では、第1項で経営の基本、第2項及び第3項で簡易水道の区域、計画給水人口などを規定しています。

第5条、重要な資産の取得及び処分では、不動産もしくは動産の買入れ、譲渡などについては、予算に定めなければならない金額を700万円以上としております。この金額につきましては、地方公営企業法施行令第26条の3、重要な資産の基準により町村の基準額を設定しております。

第6条、議会の同意を要する賠償責任の免除では、水道事業の業務に従事する職員の賠償責任について、議会の同意を得なければならない金額を10万円以上と定めています。金額については自治体によって幅がありますが、平均的な基準額を設定しています。

第7条、議会の議決に要する負担付の寄附の受領等では、議会の議決を要する事項として、負担付の寄附及び法律上の義務に属する損害賠償について、100万円以上のものと規定しています。

なお、負担付の寄附とは、寄附の条件として村が法的義務を負い、その不履行の際には当該寄附の解除など、寄附の効果に影響を与えるものをいいます。金額については他の自治体を参考に、平均的な基準額を設定しております。

第8条、会計事務の処理では、会計管理者の権限のうち、出納その他会計事務及び決算に係るものを会計管理者に委任しています。これにより、公金の収納、支払いに関する事務、公金の保管等の事務はこれまでどおり税務会計課で行えるようにします。

第9条、業務状況説明書類の作成では、法の規定により毎年度2回経営状況を明らかにすることになっており、上半期下半期ごとに期限を定め、業務状況の説明書類を作成することを規定しています。

最後になりますが、附則については、本条例を令和6年4月1日から施行するものとなります。

続いて、議案書46ページをお願いいたします。

高山村水をきれいにする事業の設置等に関する条例の制定についての説明をします。

こちらの条例は、ほぼ簡易水道事業の設置に関する条例と同じなので、相違するところだけ説明させていただきます。

初めに、第2条については、下水道事業の設置について規定をしています。

第4条、経営の基本では、第2項で排水処理区域を次ページの別表のとおり設定するものがございます。そのほかの条項につきましては、同じとなります。

以上で説明を終わります。

○議長（山口英司君） 本件については議案調査としたいと思います。ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山口英司君） 異議なしと認め、議案調査とすることに決定しました。

◎議案第13号の上程、説明

○議長（山口英司君） 日程第17、議案第13号 高山村道路占用料徴収条例の一部改正についてを議題とします。

本件について説明を求めます。

後藤村長。

○村長（後藤幸三君） 議案第13号 高山村道路占用料徴収条例の一部改正について提案理由の説明を申し上げます。

議案書は49ページ、新旧対照表は33ページからをご覧ください。

道路占用料は、道路法及び道路法施行令を基に定められております。

国が令和5年4月に占用料の改定を行ったことから、その基準に合わせ料金の改正を行うこととなります。

道路占用料は主に、東京電力の電柱、NTTの電話柱などの敷地料として徴収しており、一般的な土地利用における賃料相当額を徴収するという考えから、民間における地価水準（固定資産税評価額）、地価に対する賃料の水準等を基準として算定されております。

今回の改正により、令和5年度ベースで試算しますと、現行27万4,000円が改正後には31万9,000円に増額となる見込みです。

なお、本条例の改正による料金改定は、令和6年4月1日からといたします。

慎重なご審議の上、可決くださいますようお願い申し上げ、提案理由の説明といたします。

○議長（山口英司君） 本件については議案調査としたいと思います。ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山口英司君） 異議なしと認め、議案調査とすることに決定しました。

◎議案第14号の上程、説明

○議長（山口英司君） 日程第18、議案第14号 指定管理者の指定についてを議題とします。

本件について説明を求めます。

後藤村長。

○村長（後藤幸三君） 議案第14号 指定管理者の指定について説明を申し上げます。

高山村道の駅中山盆地、高山ふれあいパーク、高山温泉いぶきの湯、みどりの村、たかやま未来センターさとのわの各施設につきましては、株式会社たかやま振興公社を指定管理者としてその管理運営を行っております。

本年度末をもちまして、その指定管理期間が終了いたしますので、改めて指定管理者制度により一括して各施設の管理運営を行いたいと考えております。指定管理者の指定に当たりましては、公募により希望者を募り、指定管理者選定委員会において審査の上、村長へ答申するものとなっております。

今般11月6日を期限として公募を行いました。応募者は株式会社たかやま振興公社のみでありました。この1者について指定管理者選定委員会で審査した結果、適格であるとの答申をいただいたところでございます。

以上のことから引き続き、株式会社たかやま振興公社を指定管理者として指定し、各施設の管理運営に当たっていただきたいと考えた次第でございます。

なお、指定管理は来年度から令和9年度までの3年間といたしたいものでございます。

原案のとおり可決くださいますようお願い申し上げ、説明といたします。

○議長（山口英司君） 本件については議案調査としたいと思います。ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山口英司君） 異議なしと認め、議案調査とすることに決定しました。

◎議案第15号～議案第22号の一括上程、説明

○議長（山口英司君） 日程第19、議案第15号 令和5年度高山村一般会計補正予算（第6号）から日程第26、議案第22号 令和5年度高山村水をきれいにする事業特別会計補正予算（第2号）までの8議案を一括議題とします。

本件について説明を求めます。

後藤村長。

○村長（後藤幸三君） 議案第15号から議案第22号まで、一括して説明を申し上げます。

最初に、議案第15号 令和5年度高山村一般会計補正予算（第6号）について説明を申し上げます。今回の補正は既定の予算に1億3,961万1,000円を追加し、予算総額を33億7,658万6,000円とするものでございます。本補正による主な新規事業につきまして説明申し上げます。

まず、3款1項1目社会福祉総務費において、低所得世帯支援給付金事業として2,916万2,000円を計上いたしました。これは物価高騰対策の一環として、国主導で行われるもので低所得世帯400件分を見込んでおります。今回の給付は、1世帯当たり7万円の追加給付を行うもので、前回給付の3万円と合わせ1世帯当たり10万円が支給されることとなります。

次に、6款1項4目畜産振興費において、越冬放牧のための資材、飼料代、また管理業務の委託料として、234万5,000円を計上いたしました。現在、綿羊の飼育計画が持ち上がっているところですが、具体的な計画には至っておりませんので、ひとまず今年度は和牛放牧を継続することといたしました。

最後に、基金への積立てですが、令和4年度の決算確定を受け、庁舎建設等基金へ5,000万、減債基金へ2,000万円を積み立てることといたしました。

続きまして、議案第16号 令和5年度高山村国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について説明を申し上げます。

今回の補正は、既定の予算に593万円を追加し、予算総額を4億8,875万5,000円とするものでございます。産前産後の期間の国民健康保険税が免除となることに伴うシステム改修費用の増額と、令和4年度決算の確定によりまして、国民健康保険基金への積立金及び一般会計へ繰出金を計上するものでございます。

続きまして、議案第17号 令和5年度高山村後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

について説明申し上げます。

今回の補正は、既定の予算に142万3,000円を追加し、予算総額を5,916万7,000円とするものでございます。後期高齢者保険料の均等割額が見直されたことにより、後期高齢者医療広域連合への納付金が増額となるものでございます。

続きまして、議案第18号 令和5年度高山村介護保険特別会計補正予算（第1号）について説明申し上げます。

今回の補正は、既定の予算に1,869万1,000円を追加し、予算総額を5億2,769万6,000円とするものでございます。介護職員の人件費や入所者の生活費など、介護報酬改定に伴うシステム改修費、令和4年度の事業費確定による各機関への精算返還金及び令和4年度決算の確定により、一般会計への繰出金を計上するものでございます。

続きまして、議案第19号 令和5年度高山村土地開発事業特別会計補正予算（第1号）についてご説明申し上げます。

今回の補正は、既定の予算に165万6,000円を追加し、予算総額を6,054万7,000円とするものでございます。令和4年度決算の確定により、一般会計への繰出金を計上するものでございます。

続きまして、議案第20号 令和5年度高山村農業用水事業特別会計補正予算（第1号）について説明申し上げます。

今回の補正は、既定の予算に59万5,000円を追加し、予算総額を2,573万9,000円とするものでございます。大久保貯水池において大量の藻が発生したため、その駆除処理剤購入費用を計上し、また物価高騰などの影響により電気料に不足が見込まれるため、増額補正をお願いするものでございます。

続きまして、議案第21号 令和5年度高山村簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）について説明申し上げます。

今回の補正は、既定の予算に658万9,000円を追加し、予算総額を1億1,037万1,000円とするものでございます。今年度は、消費税の中間申告を要することとなりましたので、消費税の中間申告分を、また令和4年度決算の確定により一般会計への繰出金を計上するものでございます。

続きまして、議案第22号 令和5年度高山村水をきれいにする事業特別会計補正予算（第2号）について説明申し上げます。

今回の補正は、既定の予算に406万8,000円を追加し、予算総額を1億5,970万2,000円と

するものでございます。市町村設置の合併浄化槽の修繕料に不足が見込まれるため、増額補正及び令和4年度決算の確定により一般会計への繰出金を計上するものでございます。

以上、補正の概要につきまして申し上げましたが、審議をいただく中で職員により逐次ご説明いたしますので、全議案について原案のとおり可決くださいますようお願い申し上げ、ご説明とさせていただきます。

○議長（山口英司君） 本件については議案調査としたいと思います。ご異議ありませんか。
〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山口英司君） 異議なしと認め、議案調査とすることに決定しました。
暫時休憩します。
午後1時30分より再開します。

休憩 午前11時08分

再開 午後 1時30分

○議長（山口英司君） 再開します。

◎一般質問

○議長（山口英司君） 日程第27、一般質問を行います。

◇ 後 藤 明 宏 君

○議長（山口英司君） 最初に、6番、後藤明宏議員の発言を許可します。
〔6番 後藤明宏君登壇〕

○6番（後藤明宏君） 議長より質問の機会をいただきましたので、第6次高山村総合計画について村長のお考えをお聞きいたします。

この11月、計画策定に向けた村民アンケート調査が行われました。高山村では現在役場庁

舎をはじめ、幾つもの施設が建設より30年から50年を迎え、修繕や建て替えの時期を迎える中、村の人口もここ15年で1,000人以上減少し今後も人口が減少すると予想される中、高山村の農村風景を守る農業人の減少も懸念されるところであります。

今の景観を維持していくためにも、各施設、人口と将来を見据えて人・農地プラン、土地改良事業、集落営農など、地域計画を盛り込んだ総合計画の策定のお考えと、現在村長の描く村づくり計画案がありましたらお聞かせください。

○議長（山口英司君） 村長より答弁を求めます。

後藤村長。

○村長（後藤幸三君） ただいま、後藤明宏議員の一般質問についてお尋ねがございました。

令和6年度で第5次高山村総合計画が満了することから、第6次高山村総合計画を3か年計画で策定中ですが、総合計画は長期的な視野から高山村のあるべき姿を定め、村づくりの最上位計画として位置づけられます。村の課題や将来について村民の方々が自分事として捉えられるように、村民が主体となって作成し、村民、事業者、行政等それぞれの役割を定義していく必要がございます。

総合計画の骨子となる基本構想では、村民の方が主体となり計画づくりを行い、本村の目指す方針や土地利用、福祉、教育、環境等の大きな各分野での方向性や目標を掲げてまいります。基本計画では基本構想を実現するために、行政での取組、役割を具体的な施策、計画等を明記することとなります。

公共施設の建て替え、人口減少、人・農地プラン、土地改良等について、各個別計画等により詳細を明記されていますが、総合計画と個別計画の整合性はもとより、目標、方針の調整を図りながら、方向性に乖離が生じないように作成していきたいと考えております。

このことにより、基本構想及び基本計画、個別計画の一貫性を保つことができ、村全体で推進することができるようになります。

各個別計画は中長期的な計画で、各分野を横断しての優先順位は決められませんが、総合計画では中長期的かつ各分野を横断的に優先度を定めることができ、政策選択の基準としての機能を果たすことができます。

最後に、村民、事業者、行政等それぞれ役割を定義することで、各主体での行動を促進し、村民の方が主体となり計画づくりをするため、お互い協働し、より一層住みよい村づくりが実現可能となっていくこととなり、100年先も住み続けたい持続可能な村につなげていきたいと考えております。

以上、後藤明宏議員の一般質問の答弁とさせていただきます。

○議長（山口英司君） 6番、後藤明宏議員。

○6番（後藤明宏君） 高山村にとって、この計画というのは本当に将来を見据えて立てなければいけない重要な時期だと思います。

第6次総合計画は高山村の将来重要なデザインであり、設計図です。目的の設定、計画の策定、指標の表現からなる一連のプロセスであり、村民と村にとって価値ある目的を見出し達成できる計画と、村民に理解できる表現でなければなりません。

村長の思いと村民の意向を精査し、将来に希望の持てる持続可能な高山村むらづくり計画の策定を求めます。

以上です。

○議長（山口英司君） よろしいですか。終わりでよろしいですか。

◇ 平 形 富 二 夫 君

○議長（山口英司君） 次に、9番、平形富二夫議員の発言を許可します。

9番、平形富二夫議員。

〔9番 平形富二夫君登壇〕

○9番（平形富二夫君） 議長より許可をいただきましたので、村長に本宿田中地区宅地公募について質問をいたします。

宅地公募から月日がたちました。今、応募がない状況が続いております。一つの要因として物価高騰、宅地金利の上昇が考えられます。住宅建設費は、令和4年度でありますけれども138.4%と年々上昇傾向にあります。

また、住宅ローン変動金利の見通しは、現状維持だが景気動向によっては徐々に上昇する可能性もあり、また長期固定金利も上昇していく可能性があるというのが大方の見方でございます。

そこで村長に質問をいたします。

1つ目としては、宅地応募の詳細の説明を求めます。

2つ目として、価格設定のときに議会と意見交換をしたのかお聞かせください。

3つ目として、応募のない今、今後どのように考えているのか村長の意見を聞かせていた

だきたいと思います。

ちなみに、夏くらいまでは高山村公式サイトの特ピックス内に掲載されておりましたが、現在は見えない状況でございます。

また、地域振興課のページにも古屋団地の表記掲載はありますけれども、本宿の田中地区のあれはありませんでした。

以上で質問を終わります。

○議長（山口英司君） 村長より答弁を求めます。

後藤村長。

○村長（後藤幸三君） 平形富二夫議員の一般質問についてお答えをいたします。

本宿田中団地は令和4年度において造成工事が完了し、令和5年4月10日から5月末日まで分譲の申込みを行いました。平形議員に指摘いただいたとおり、物価高騰の要因も考えられ、問合せ等は数件ありましたが、いまだに申込みがないのが現状であります。

最初の質問であります、宅地応募の詳細の説明をさせていただきます。

田中団地は6区画の分譲地で、1区画120坪前後の分譲地となります。上下水道も区画内に引き込みしてあり、インターネットも団地内の電柱まで引き込みを済ませております。分譲の目的としての定義といたしまして、人口減少が進み若年層の定住化対策が不可欠となっております。少子化対策はもとより定住人口の増加及び地域の活性化を図ることを目的とした分譲地となります。

申込者の条件についてですが、契約から5年以内に自ら居住する住宅を建築し、永住し、地域の行事等に積極的に参加できる方となっております。

最終的には選定委員で審査を行い、資格審査の中では本分譲は若年層の定住化を目的としているため、子育て世帯夫婦の満年齢の合計が80歳未満の世帯に該当するか否かに重点を置き審査することを明記しております。

2番目の質問の価格設定のときに議会と意見交換をしたかについてですが、分譲開始前に分譲案内冊子において議会に説明させていただいております。分譲価格について、以前分譲した各団地の分譲価格や固定資産税の評価価格等を参考に、坪当たり2万5,000円と決定させていただきました。

3番目の質問の、応募のない今、今後どのように考えているかについてですが、本分譲地は若年層の定住化を目的としていることを鑑み、子育て世代が購入しやすいような大胆な分譲価格として、再度検討を重ねていきたいと考えております。これについては大胆な価格を

考えるということになると思います。

以上、平形富二夫議員の一般質問への答弁とさせていただきます。

○議長（山口英司君） 9番、平形富二夫議員。

○9番（平形富二夫君） 村長、今のどこの市町村も少子化対策を考え、あの手この手と差別化戦略を本気で考えております。今回宅地価格設定のときに少子高齢化対策を考えていると思いき、価格の設定には大きな期待を持っておりましたが、あまり期待したほどではありませんでした。

応募がない今、単価を下げてインパクトがありません。まして、応募がないから単価を下げたのではイメージが悪くなります。村が移住・定住を勧めながら、村内の子育て世代を少しでも多く高山村に住んでもらうために、マイホーム建築費2万円ぐらいを補助金として応援したらどうでしょうか。私は、宅地の単価を下げるよりも、単価の分ぐらい子育て世代に応援してやってやることは先行投資だと思います。村長、どう思います。

○議長（山口英司君） 後藤村長。

○村長（後藤幸三君） これについては、価格を設定してやってみないと分からない点もございました。ですから今後考えるに当たっては、ゼロ円でもいいような、私は気がしております。これは皆さん方と一緒に考えなければいけない事項かもしれませんが、人口を増やしていくという観点から、若い人を高山に住ませるといふ考えの下に、そういった大胆なことをしていけないといけないんじゃないかというふうに検討していきたいというふうに考えております。

○議長（山口英司君） 9番、平形富二夫議員。

○9番（平形富二夫君） 今、村長の答弁でゼロ円も考えられると。私はあそこの宅地造成したときに、ひょっとしたら少子化対策として村長がゼロ円にするんじゃないかと思って期待しておりました。売れないからゼロ円じゃ、ちょっとインパクト弱いんですよ、村長。最初からゼロ円にしてくれればもっと、今上毛新聞さんも来ているけれども、そういうところであんなと取り上げてくれたんじゃないかと思うね。どこも少子化対策を本気で考えているから、この単価決め、議会と1回話し合いさせてもらえますかね。よろしくをお願いします。

○議長（山口英司君） 後藤村長。

○村長（後藤幸三君） ただいま、平形富二夫議員の話の内容ですけれども、これは結果論で、結果的にこうなったからこうだということなんです。それは一応考えなきゃいけないけれども。高山へ来てくれる人をなるべく多くするために、この価格設定については皆さんと

一緒にまた再考していきたい、そういうふうを考えております。

○議長（山口英司君） 9番、平形富二夫議員。

○9番（平形富二夫君） それじゃ村長、議会と話合いの機会をよろしくお願いします。終わります。

◇ 後 藤 肇 君

○議長（山口英司君） 次に、8番、後藤肇議員の発言を許可します。

8番、後藤肇議員。

〔8番 後藤 肇君登壇〕

○8番（後藤 肇君） 議長から発言の機会をいただきましたので、今日は渋川方面通学バスについてお伺いしたいと思います。

年末、年度末を迎えるに当たって、生徒の心も揺らぐこの時期に、渋川方面通学バス廃止について通学バス運営事業者が、来年度についてはこの路線については赤字が累積多大になるため、廃止したい旨との通告がございました。

この問題に対して村長の発言をお願いいたします。

○議長（山口英司君） 村長より答弁を求めます。

後藤村長。

○村長（後藤幸三君） 後藤肇議員からのご質問であります、渋川方面通学バスについてお答えしていただきたいという質問であります、渋川方面の通学バスについては、保護者による日常的な高校への送迎が大きな負担であるとして、平成15年度に渋川方面の高校通学している生徒の保護者が組合を設立し、貸切りバスとして運行する形で現在に至っております。

しかしながら、今般、運行事業者から企業努力もしながら運行を続けてきたけれども、生徒数の減少に加え、国土交通省が定める下限運賃引上げなどの制度改正もあり、今以上の経費圧縮は見込めないとして、組合に対して今年度限りで運行を終了したいとの申出がされたようでございます。

村における現状ですが、今年度の高校通学者は80名で、地区別に見ると、吾妻方面が25名、沼田方面が8人、水上方面が3人、渋川方面が22人、前橋・高崎・桐生方面が21人、県外1人となっております。

また、村内に高校がないことから高校就学者全員を対象に月額5,000円の補助金を支給しております。広域的には、JR吾妻線及びJR上越線の活性化を推進し、地域発展を図ることを目的として、渋川市及び吾妻郡内の全町村で組織する、渋川・吾妻地域在来線活性化協議会が設立され、路線バスとの連携がより図られるよう路線バスの時刻表の改定なども協議されているところでございます。

渋川方面の通学バスについては、保護者が任意で設立した組合組織により運営されていたこと、通学費の一部補助としての就学補助金を支給していることや、多岐にわたる通学方面、方法に対しいかにして公平性を担保するかということなどを考慮すると、貸切りバスを利用した通学と比べ利便性が劣ることは否めませんが、公共交通機関を利用した通学方法を検討していただければと考えております。

以上、後藤肇議員からの質問に対する答弁とさせていただきます。

○議長（山口英司君） 8番、後藤肇議員。

○8番（後藤 肇君） 今、村長の答弁を聞かさせていただきました、村としては、やはりそういう形の答弁になるのかなという気は持ちました。

ただ、これを15年から続けて私的な組合をつくって、子供のためにということで今日まで、いま続けているわけです。そういう中において、平均的にいいということを考えればこの組合に関して余分なことは、ということで終わってしまうのかなという気はするのですけれども、さっきちょっと最初に触れたように年度末にかけて3年生、三十何名かおられるんですけども、そういう人の心が揺れるときにやはり一番通学の問題で廃止とかそういうものが出てくると、やはり一歩前に出た考え方の中でただ通学だけではなく、渋川方面に関しては医療センター、渋川駅、そういったものも多分考えてはおられるのかなと思うのですけれども、含めた中でももう少し通学バスだけではなく、ほかの方法で何か取れないかなということをちょっと思いつくわけです。

その辺に関して村長はどう考えるか、ちょっと答弁のほうよろしくお願いします。

○議長（山口英司君） 後藤村長。

○村長（後藤幸三君） ただいま、後藤肇議員の意見の中で、中之条方面と同じように渋川方面も同じ公共交通を導入したらどうかという意味だと思います。

そこで、なかなか路線を確保するという事は非常に難しいらしいです。この問題についてはまた検討の余地がございますから、公共交通機関の在り方等、会議等もがございますからそこでの話になるかというふうに考えております。公共交通機関のバスは、通っていただけ

れば大変結構なことだと思います。

○議長（山口英司君） 8番、後藤肇議員。

○8番（後藤 肇君） 村長が今言われたように、公共機関と一緒に考え方をすると私思っていないんです。ただ、公共機関はこれもう何十年ともっと先からやっていることですから、それも含めた中で交通全体の方法というのですか、福祉バスに関しても、そういういろんな面をどう考えるのであれば、やはりこれから検討してデマンドバスとかそういうものを含めた中で少し検討して、この問題が廃止で終わってしまえば、今まで私的に組合をつくって子供希望もかなえていったところもあると思いますので、その灯を消さないように少しでも前向きな形の中で話が進められるような方策を講じていただきたいというのが第一の考え方なんです。

ただ、ここで本当に終わってしまうというのでは。廃止ですよ。民間ですから赤字でしたらやめてもこれは当然だと思います。そこを何年間続けてきたことですから、村の宝は子供だとかいろいろ理由をつけて子供の話題性に上っているわけなんで、ぜひその辺を踏まえた中で話をここで終わりにさせずに、公共機関プラス福祉バスとか、いろいろな公共な部分をもう一度再検討していく機会ではないかなと思うので、村長はその辺の考え方についてどう思われるか、もう一度お願いいたします。

○議長（山口英司君） 後藤村長。

○村長（後藤幸三君） これから子供たちのためにそういった足の確保ということは本当に大事だと思います。しかしながら、この民間の業者も入れるとなると、採算性ということを考えれば、もう全然該当にならない。

また行政で補助をしていくということになれば、多額なお金が必要だし、また公平性が保てるかということもございます。ほかの地域に通う子供たちとね。このあたりはまたこれからどんな意見が出るにしろ、議論を重ねていい方向に向かえば結構なことなんですけれども。

そういった努力もしながら、検討していきたいというふうに考えております。

○議長（山口英司君） 8番、後藤肇議員。

○8番（後藤 肇君） もう一度よろしいですか。

まあ村長の立場からすればそういったことは分かりますけれども、ぜひ前向きな形の中で話を進めていただいで、公共交通は公共交通で仕方ないと思うんです。民間は民間でやはり仕方ないんですけれども、そのどこかを取って話を進めていくとか、そういう方法論をぜひご検討いただければと思います。

それに、ちょっと参考なんですけれども、今中学3年生29名おられて、半数近くが渋川とか前橋方面に行かれると。さっきの話ですと、結構言った中で今までは行かれているというのを村長のほうでお話いただいたんですけれども、あと利根・沼田の方に10名、あと郡内に三、四名の方が3年生の中で、これはまだ確定ではなくて、あくまで希望でということですからこういう希望の光を消さないように、方法をぜひ取っていただければと思います。

これからもそういったことは、いろいろな中でお話をいただきながら進めていただければいいと思うんで、よろしく願いいたします。

◇ 飯塚武久君

○議長（山口英司君） 次に、5番、飯塚武久議員の発言を許可します。

飯塚議員。

〔5番 飯塚武久君登壇〕

○5番（飯塚武久君） 議長のお許しをいただきましたので、一般質問をさせていただきます。

現在、日本の社会は少子高齢化の進行や、人材のミスマッチ等に起因する慢性的な人手不足が生じており、特に自治体においてはこれまで行政改革の下に人員が削減され、また働き方改革の推進等と相まって、業務を担当する職員は忙しい中で以前に比べて多種多様な課題に取り組まなければならない、そんな状況にあると思います。

また、行政職員は大規模災害の発生などの非常時に備えて通常業務を遂行する人員に加えて、ある程度の余裕を確保していく必要があるのではないかというふうに考えてあります。

そうした中で、一方で厳しい財政運営を強いられる中での人員増は難しく、結果としては業務の効率化をさらに進めていく、こういう方向に進むことが現実的ではないかというふうに考えております。

そうした中、国はデジタルテクノロジーを駆使して人員不足などの諸問題を解決すべく、令和2年度からDXの取組を積極的に進めており、自治体においても令和8年3月までに各自治体ごとに、自治体DX推進計画を策定し、積極的にDXを活用することを求めています。

そこで、本村におけるDX、デジタルトランスフォーメーションの取組について、2点ほど質問をさせていただきます。

まず、1点目であります、本村におけるDXの取組の現状についてお尋ねをいたします。
それから、次に2点目であります、本村におけるDXの全体方針とその後の予定についてお尋ねいたします。

以上です。よろしく申し上げます。

○議長（山口英司君） 村長より答弁を求めます。

後藤村長。

○村長（後藤幸三君） 飯塚武久議員からのご質問であります、本村におけるDX、デジタルトランスフォーメーションの取組の現状、全体方針と今後の予定についてお答えいたします。

令和2年12月、政府においてデジタル社会の実現に向けた基本方針が策定され、「デジタルの活用により一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会～誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化～」が目指すべきがデジタル社会のビジョンであると示されました。

このビジョンの実現のため、住民に身近な行政を担う自治体の役割が重要であり、1つ目として自らが担う行政サービスについて、デジタル技術やデータを活用して、住民の利便性を向上させること、2つ目としてデジタル技術やAI等の活用により業務効率化を図り、人的資源を行政サービスのさらなる向上につなげていくことが求められるとされました。

また、重点取組を事項として6項目が示されておりますが、その多くが自治体単独で完結するものではなく、国や県との連携が必要となっております。

1つ目は、マイナンバーカードの普及促進。村では休日に申請の受付、相談を行うことなど取得支援を行い、その普及促進に努めてまいりました。保有率は、全国が78.6%、群馬県では72.5%、村では72%となっておりますが、当村の年齢構成などを考えるとまずまずの水準ではないかと思っております。

2つ目は、自治体の情報システムの標準化、共通化。これは国指導により進められているところでございます。システムの仕様が統一されることにより、他自治体との連携が容易となるとともに、システム提携業者を選定する際に、競争原理が働きやすくなるといった効果もあるのではないかと考えております。

3つ目として、自治体フロントヤード改革の推進。オンライン申請や電子納付などがその代表的なものであり、本年2月から転入先で転入届が、4月からは固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税、住民税の納付書に統一QRコードが記載され、全国どこからでも納入できるようになっております。その他の税目及び公金についても準備を進めているところでござ

います。

その他の重点取組事項として、セキュリティ対策の徹底、自治体のA I・R P Aの利用推進、テレワークの推進が示されておりますが、これらについては自治体単独での推進が可能なものと認識をしております。

セキュリティ対策については万全を期しておるところでございますが、A Iの活用やテレワークの導入については制度の構築やルール化、また住民の理解も重要な要素になってくるものと考えており、現在は導入に向けた具体的な取組は行っておりません。

D X推進の方針としては、住民とその意義を共有しながら進めてまいりたいと考えておりますが、システムの導入や保守等々、多額の費用が見込まれますので、適時適切な推進を図り住民の理解が得られるような形で進めてまいりたいと考えているところでございます。

以上、飯塚武久議員からの質問に対する答弁とさせていただきます。

○議長（山口英司君） 5番、飯塚武久議員。

○5番（飯塚武久君） ありがとうございます。

逐次計画をつくって進めておるとのことだと思います。D Xの推進については大きな自治体、このほうが従事する人員も確保しやすいと。

また、迅速な対応が可能だということだと思います。反対に、小さな自治体は少数精鋭の中で専門性を持った、いわゆるスペシャリストを確保することがどうしても難しく、このような取組が遅れる傾向にあるかというふうに思っております。

しかし、D Xの推進は業務の効率化や住民サービス向上に寄与するとともに、業務の平準化やマニュアル化が劇的に進み、スペシャリストを確保することが難しい小規模自治体にあっては、その効果がより大きく現れるのではないかというふうに考えてございます。

すでに、県内においてもいくつかの自治体がA Iなどの活用等も始めてございます。ぜひ本村においてもこのD Xの推進を計画的に進め、業務の効率化を図るとともに、行政サービスのさらなる向上、また非常時における人員の確保に向けてこのD Xを着実に進めていただきたいと思っております。

以上です。

○議長（山口英司君） 後藤村長。

○村長（後藤幸三君） 私はこのD Xについて、小さな自治体については、県とかあるいは国からオーソリティーを派遣してもらってやっていくのが、本来ならそういう形にさせていただきたいんです。大きな市、自治体では専門家を自前で用意できますけれども、我々のように

小さい自治体ではとても用意できないと、その点を、県の援助をいただければというふうに考えて、これから働きかけていきたいというふうに考えております。

○議長（山口英司君） 5番、飯塚武久議員。

○5番（飯塚武久君） 今、村長のほうから非常にありがたいといえますか、前向きな発言をいただきました。ぜひ県を頼って、国を頼って、この小さな自治体をしっかりと運営していく、そんな方向でDXを使っていただきたいというふうに思います。

どうぞよろしく申し上げます。

◇ 渡 邊 裕 治 君

○議長（山口英司君） 次に、1番、渡邊裕治議員の発言を許可します。

1番、渡邊裕治議員。

〔1番 渡邊裕治君登壇〕

○1番（渡邊裕治君） 議長より一般質問の許可をいただきましたので、質問をさせていただきます。

村の人口減に対する各分野の担い手確保、担い手不足、中長期的な方向性と今後について今回お伺いしたいと思います。

平成26年に策定された第5次総合計画において、来年度の人口統計目標値は3,500人。統計上の推計値は3,318人。しかしその後、平成27年に策定された高山村まち・ひと・しごと創生総合戦略で示された推計値は3,261人とありました。

しかし、令和5年11月1日付における群馬県の統計資料によると、高山村の人口は3,137人、予想をはるかに上回る人口減少が進んでおります。少子高齢化において官民間問わず担い手の確保がますます厳しくなっています。

そこで、今回計画をしている土地改良後の農業分野、また農業分野以外の担い手確保について。

2つ目は、行政関連となる役場、教育保育関連施設の職員、そして行政区の区役員などの担い手確保、担い手不足解消について、中長期的な方向性と今後の対策についてお伺いしたいと思います。

よろしくお願ひいたします。

○議長（山口英司君） 村長より答弁を求めます。

後藤村長。

○村長（後藤幸三君） 渡邊裕治議員からのご質問であります、村の人口減に対する担い手確保、担い手不足、中長期的な方向性と今後について、お答えいたします。

本村のみならず、全国的に急激な人口減少が続いております。総務省の推計では2050年には、日本の人口は1億人を下回るとされております。日本各地で限界集落と言われる存続不可能となったコミュニティー組織の問題や、農林業をはじめとする後継者不足問題が顕著化してきているところでございます。

本村においては、昭和31年には5,102人でありました。昭和36年には5,000人、平成24年には4,000人を下回りました。平成28年に策定した人口ビジョンでは、平成32年に3,400人台まで減少すると推計されておりましたが、当年の実数は3,616人と推計を上回る結果となりました。しかしながら、本年3月には3,289人と人口減少に歯止めがかかっていない状態が続いております。

お尋ねの行政関連について、職員については、人事院勧告等により給与、勤務条件がある程度確保されておりますので、員数確保には当面問題なからうかと考えておるところでございます。

次に、行政区の関係ですが、役員の方々には日頃から大変なご苦勞をいただいております、心より感謝を申し上げる次第でございます。高山村においては、行政区あるいは隣保班を単位としたコミュニティー組織が古くから続いており、根づいていると思っております。

行政区は相互扶助の上に成り立っており、日常のご近所付き合いから地域の輪が広がり、見守りや問題解決など何気ない暮らしの支えになっているとともに、万が一災害が発生した際の備えには、大きな役割が期待されております。重要な役割を担っていただいている行政区運営の在り方については、その時代に応じたものへと変化をさせていくことも必要であると思っておりますが、可能な限り現状維持していただければと考えております。

次に、順番が逆になりましたが、計画している土地改良後の農業分野、農業分野以外の担い手の確保についてでございます。

担い手の問題については、新規流入と流出阻止この2つを分けて考える必要があります。

判形地区では、計画している土地改良を例に申し上げますと、懸案事項としては農業の高齢化、農業後継者や担い手と呼ばれる地域農業を支える農業者も不足しており、農地面積が小さく進入路も狭いため、営農効率が悪く将来的に遊休農地化する確率が高いということが挙

げられております。反対にメリットとしては、1団地当たり面積が小さいため、担い手や新規就農者への集積、集約が比較的容易で、営農計画を立てやすいということなどが挙げられます。

地域からの要望としては、担い手もしくは新規参入者を募り、農地維持のために村の支援を受けたいということを知っております。

新規流入については、移住者を積極的に受け入れるしか方法がありませんので、移住相談会など積極的に参加するとともに、移住・定住コーディネーター等への委託を含め、村としては積極的に支援してまいりたいと考えております。

流出阻止についてはさらなる支援が必要であり、廃業や流出の要因分析などを行い、対策を行う必要があると考えております。

また、農業分野と農業分野以外としてのご質問ですが、それぞれに分けてお答えいたします。

農業分野の担い手確保については、高山村では本年度、オーガニックビレッジ宣言に向けて計画しておりますので、有機農業実践のほ場確保や、高収益作物導入、伝統野菜の栽培農地の確保など、高山村として魅力ある農業ができる地域として、営農条件がそろっている地域と考えています。

地域ごとに栽培作物を絞り込んで、営農ができれば担い手や新規就農者として、現在就農支援業務として民間事業者へ委託し、毎年3名を定員とした就農型の地域おこし協力隊を募集し、令和4年度からの2年で、5名の方が就農に向けて研修をしております。

県下別自治体では、自治体が支援しなくても農業生産法人などの事業者が、研修機関のような役割を果たし、地域に新規就農者が根づいていくサイクルが生まれていることから、地域の担い手不足解消につながっていますが、高山村では残念ながらそのような事業者がいないため、行政として支援していくことが必要です。

そして、流出防止の観点ではさらなる支援が必要であると考えております。事業体単体の問題ではなく、産地として育てていく必要があります。直近では、オーガニックビレッジ宣言や、さとのわのフードファクトリーを活用した6次産業化などがありますが、今後も枝豆など経済性の高い品目等の生産振興を行政として行い、産地化を目指すなどの支援も必要であると考えております。

次に、農業分野以外の担い手の確保についてですが、こちらはより一層地域での循環を目指した担い手支援が必要であると考えております。

各事業者の創意工夫が大前提になるかと思いますが、道の駅への出品やふるさと納税への返礼品化などにより、少しでも販売増加につながる支援に取り組んでいきたいと考えております。

また、後継者がいない事業主については、県で行っている事業継承の特設ウェブサイト「ミライマッチング」に登録し、後継者募集に応募した方とのマッチングがうまくいくような支援も行っていきたいと考えております。

以上、渡邊裕治議員からの質問に対する答弁とさせていただきます。

○議長（山口英司君） 1番、渡邊裕治議員。

○1番（渡邊裕治君） 答弁ありがとうございました。

村とすれば、やっぱり農業を基幹産業として位置づけているわけで、私の団塊世代ジュニアの方々からもちよっとお話をいただいたことがあるんですけども、基幹産業としてやはり高山村は農業をしていってもらいたいんですけども、その後の担い手が本当にいないんじゃないかと、心配をいただいている声をお聞きしました。

今回、農地集積ということで、これから計画をしてということなんですけれども、やはりそこには関わる人がいなければ、どんなに事業をやったとしても費用対効果が生まれませんし、逆に今までと同様の手法、やり方では本当にやったという事実ができるだけで、今後村とすればやるからには生産性の向上、また生産者の収益向上があつての農地集積につなげるべきかなと私も思っています。

今、生産主体が個人、個別農業が主体になっているんですけども、やっぱり収益向上を考えると農業生産法人等の整備も、村長言われていましたけれども、そういう整備も今後していかなくちやならないんじゃないかなと。

ここ20年で大分気候変動が進んで、サクランボだとか、リンゴだとか、近年被害が大きくて続けることができない農家さんもいるわけで、今ちょうど全体的な気温が1.1度から1.4度上がっているということで、これから先を見据えて持続可能な農業を展開していくには、やっぱりここでやっていただくのが最後のチャンスかなと思っています。

農業以外でやはり、第5次計画の中でも雇用の創出の重要度は高かったと思うんですけども、なかなかそこに企業誘致というのはつながらない部分がありますから、私は、農業が主要産業というふう位置づけをするのであれば、そこを農家の方をサポートする体制としての仕事をつくっていく必要もあるんじゃないかと。もちろん、農産物の販路拡大だとか今度逆に農家の方に特化した経理のプロフェッショナル養成のなども、今まで農家の方が個人

個人でやっていた事業を、事業化するというふうになればそこに人も集まってくるし雇用も生まれるというふうに考えています。

あと、行政分野のほうで先ほどありましたけれども、行政区もやはり皆さん核家族化、高齢化してきて、だんだん役員も担い手も見つからないというのが現状だと思いますので、そこは公民館機能の再編を思い切ってしていただいて、区長の仕事を減らしていくことも、この分野もやはり構造改革をしていただければと思っています。さっきの飯塚議員の一般質問の中で、DXの活用も入れていただければと思っています。

あとやはり、全てにおいて人がいて村が成り立つと思うんです。人がいなければやはり村としての機能維持というのもだんだん難しくなるので、村長が言われるように移住を増やす、交流人口を増やすというのもいいんですけども、農業を本当に産業とするならばその方向で周りを固めた雇用をつくる方向性を、できれば次の6次計画の中に入れ込んでいっていただきたいなと思います。

あと、それとこれは私の要望なんですけれども、未来の高山村を築く世代、今でいう18歳以下ですかね、小・中・高校生の意見というものもやっぱり必要じゃないのかなと。

今、計画が始まる場所なんですけれども、3年5年とあっという間に過ぎてしまいます。そうすると、今、高校生、入学した子たちはもうその頃には卒業しているわけです。そうするとやはり5年10年スパンで見ると、次の世代を背負って立つ子供たちがこの村をどうしていきたいかということをしっかり聞いて次の世代に渡していただきたいなと思っています。

最後に、一般質問を閉じる前に村長に1つお聞きしたいんですけども、「じんざい」という言葉にどのような文字を当てはめれば適切か、最後にお聞きしてこの質問を閉じたいと思います。よろしくお願いいたします。

○議長（山口英司君） 後藤村長。

○村長（後藤幸三君） 「じんざい」ですか。これ、技術を持った先駆者と言っても過言ではないと思いますけれども、やはり村内にもそういう人が、もう経験を積んでいる人がいます。

けれども、新しい農産物を導入するに当たっては、やっぱりそのオーソリティーがないわけだから、外部から招聘して指導してもらおうとかがございます。技術、知識そういうものは大切になってくると思います。オーガニックビレッジ宣言をした後には、これにしっかりと取り組んでいかなければいけない。どうしたらオーガニックの、無農薬の、減農薬で作物ができるかということも勉強していかなければならない。昆虫、虫に対する、相反する虫が、

お互いに闘って自滅していく、そういったやり方もありますし、あるいはマリーゴールド等の花は毒性が強い。そういったものを近くにおいて作物を耕作する。あるいはバラを植えて、バラに虫を集めて退治するとか。ブドウ園なんかはほとんどそれをやっているところが多い。

やはり、知識を持った人です。こういう人は大切にしなければいけないと思っています。今、地域おこし協力隊で来ている方の中にも、随分知識を持った人がおりますから、そういう人もまたいろんな経営の仕方とか、品物、農産物の加工品等々に興味があって知識を持っていますから、こういう人をうまく活用して第6次産業に結びつけたりしていくのがいいのではないかと思います。

私どもの、村で育った年老いた人の中にも大分発酵食品の知識を持った人もおります。そういうことから、6次産業、5次産業を導入、開発していけたらというふうに考えておりますので、こういった人の集団をつくってみたいですね。やっていければと思っています。

○議長（山口英司君） よろしいですか。

以上で一般質問を終わります。

◎休会について

○議長（山口英司君） お諮りします。議案の調査及び審査等のため、12月5日から12月7日までの3日間休会したいと思います。ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山口英司君） 異議なしと認めます。

したがって、12月5日から12月7日までの3日間休会とすることに決定しました。

◎散会の宣告

○議長（山口英司君） 以上で本日の日程は全て終了しました。

なお、次回の本会議は12月8日金曜日午前10時に開きますので、定刻までにご参集願います。

大変ご苦労さまでした。

本日はこれで散会します。ありがとうございました。

散会 午後 2時33分

令和5年12月8日（金曜日）

（第2号）

令和5年第4回高山村議会定例会

議事日程(第2号)

令和5年12月8日(金) 午前10時開議

- 日程第 1 委員会報告
- 日程第 2 議案第 2号 高山村議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について
- 日程第 3 議案第 3号 高山村特別職の職員の給与等に関する条例の一部改正について
- 日程第 4 議案第 4号 職員の給与に関する条例の一部改正について
- 日程第 5 議案第 5号 高山村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について
- 日程第 6 議案第 6号 職員の育児休業等に関する条例の一部改正について
- 日程第 7 議案第 7号 高山村旅費支給条例の一部改正について
- 日程第 8 議案第 8号 高山村消防団条例の一部改正について
- 日程第 9 議案第 9号 高山村国民健康保険税条例の一部改正について
- 日程第10 議案第10号 高山村保育所の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 日程第11 議案第11号 高山村簡易水道事業の設置等に関する条例の制定について
- 日程第12 議案第12号 高山村水をきれいにする事業の設置等に関する条例の制定について
- 日程第13 議案第13号 高山村道路占用料徴収条例の一部改正について
- 日程第14 議案第14号 指定管理者の指定について
- 日程第15 議案第15号 令和5年度高山村一般会計補正予算(第6号)
- 日程第16 議案第16号 令和5年度高山村国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
- 日程第17 議案第17号 令和5年度高山村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
- 日程第18 議案第18号 令和5年度高山村介護保険特別会計補正予算(第1号)
- 日程第19 議案第19号 令和5年度高山村土地開発事業特別会計補正予算(第1号)
- 日程第20 議案第20号 令和5年度高山村農業用水事業特別会計補正予算(第1号)
- 日程第21 議案第21号 令和5年度高山村簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)
- 日程第22 議案第22号 令和5年度高山村水をきれいにする事業特別会計補正予算(第2

号)

日程第23 委員会の閉会中継続調査（審査）申出書について

日程第24 議員派遣について

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

出席議員（10名）

1番	渡邊裕治君	2番	平形玉緒君
3番	唐澤徳治君	4番	松井陽威君
5番	飯塚武久君	6番	後藤明宏君
7番	佐藤晴夫君	8番	後藤肇君
9番	平形富二夫君	10番	山口英司君

欠席議員（なし）

地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

村長	後藤幸三君	副村長	平形郁雄君
教育長	山口廣君	総務課長	後藤好君
会計管理者兼 税務会計課長	本間尚也君	住民課長	都筑喜久雄君
保健みらい 課長	割田信一君	農林課長	平形英俊君
建設課長	飯塚優一郎君	地域振興課長	林隆文君
教育課長	金井等君		

事務局職員出席者

議会事務局長 小池正浩 書記 林大生

開議 午前10時00分

◎開議の宣告

○議長（山口英司君） 公私ともに大変お忙しいところ、誠にご苦労さまです。

本日の会議を開きます。

◎委員会報告

○議長（山口英司君） 直ちに日程に入ります。

日程第1、委員会報告を議題とします。

最初に、総務文教常任委員会の報告を求めます。

8番、後藤議員。

〔総務文教常任委員長 後藤 肇君登壇〕

○総務文教常任委員長（後藤 肇君） おはようございます。

過日行われました合同研修についてのご報告を申し上げます。

高山村議会常任委員会合同視察研修会報告。

令和5年第4回高山村議会定例会。

令和5年12月8日金曜、報告。

総務文教常任委員会委員長、後藤肇。

まず、コースからまいりたいと思います。

11月8日、高山発、これは新幹線を使って盛岡まで、現地オガールプラザまでということ
です。2日目、これは宿泊地より貸切りバスにおいて、秋田の大野岱牧場のほうへ行って
おります。最終日は、もう帰路につくだけということになります。大館空港から羽田までとい
うことで、夕方3時半、4時ぐらいにはこちらに到着したのかなと思います。

参加者高山村議会全議員、後藤村長、後藤総務課長、林地域振興課長、平形農林課長、松
井農林課参事、小池議会事務局長。

視察先になりますけれども、盛岡市の南部、岩手県のほぼ中央に位置する人口3万2,915
人、これは令和5年3月末時点でございます。面積が238.98平方キロメートル、産業とい

たしましては、もち米、リンゴ、ブドウ、洋ナシ、南部杜氏の発祥の地、紫波もちもち牛、しわ黒豚などがございます。

紫波町は、JR紫波中央駅前都市整備事業が「オガールプロジェクト」、町の所有地10.7ヘクタールを中心とした都市整備を図るため、町民や民間企業の意見を伺い、平成21年3月に議会の議決を経て紫波町公民連携基本計画を作成いたしました。その中の一部に紫波町新庁舎がございます。庁舎はPFI方式（BOT方式）で整備され、4か所に分散していた庁舎機能を1か所にまとめて防災拠点としての機能を備えています。

次のテーマにより中心地及び庁舎づくりが実施されております。

裏面になります。

開発テーマ。

- 1、農村（田園）と都市（街）が共生するまち。
- 2、若者、高齢者全ての人が希望を持ち安心して暮らせるまち。
- 3、人にも地球にも「やさしい」まち。
- 4、優れたデザイン採用。

開発理念としまして、都市と農村の暮らしを「愉」しみ、環境や景観に配慮したまちづくり。

オガールプロジェクトの系譜です。

これは、平成19年4月、公民連携の推進に関する学校法人東洋大学、紫波町との協定書締結。8月、紫波町PPP可能性調査報告書（東洋大学大学院公民連携専攻作成）。

平成21年2月、紫波町公民連携基本計画作成。

27年5月、紫波町役場庁舎開庁。

平成29年4月、民設民営オガール保育園開園。

あとは感想になりますけれども、盛岡から東北本線で紫波町中央駅までの間と、説明を受けて感じたことを何点かご報告申し上げます。

まず、1点として、平坦地であること（立地条件がよい）。この辺は盛岡駅から紫波中央駅まで東北本線で戻るような形になるんですけれども、その間が大体直線でもう平坦ということで、こういったことを感じました。

2、交通機関の利便性がよい（東北新幹線、東北本線）。

3、都市整備を図るため町民や民間企業の意見を伺い、議会の議決を経て紫波町公民連携基本計画を作成したこと。

4として、高山村中心地づくりを検討しながら第6次基本計画に合った、暮らす、働く、学ぶ、集う、楽しむことができる村づくりの推進などを感じました。

5として、検討しながら町民にも説明していた紫波町の方法なども感じた点でございます。以上をもちまして、総務文教常任委員会の視察研修の報告とさせていただきます。

ありがとうございました。

○議長（山口英司君） 視察研修ご苦労さまでした。

次に、農林建設常任委員会の報告を求めます。

7番、佐藤議員。

〔農林建設常任委員長 佐藤晴夫君登壇〕

○農林建設常任委員長（佐藤晴夫君） 高山村議会常任委員会合同研修視察報告。

令和5年第4回高山議会定例会。

令和5年12月8日報告。

農林建設常任委員会委員長、佐藤晴夫。

行程等については総務委員会のほうで報告いたしましたので、農林建設常任委員会では11月9日に視察いたしました秋田県藤里町につきまして報告させていただきます。

藤里町は、秋田県の北部に位置し、青森県の県境に接し、県境の一带は1,000メートルを超える山並みが連なる白神山地です。町の面積は282.13キロ平方と広大ですが、国有林が全体の面積の64.8%を占めていて、人口は2,800人の町です。

藤里町の総合開発センターにおいて、藤里町議会から淡路副議長、土佐産業委員長、執行部から佐々木町長、村岡農林課長、小山議会事務局長に出席をいただき、町の概要や町営大野岱牧場の概要、羊肉の加工、羊毛活用などについて説明を伺いました。

藤里町における羊の導入は昭和55年からとなり、当時7戸の農家が10頭ほど飼育していた羊に注目し、羊の飼育と副産物の堆肥を利用したアスパラガスなどの畑作振興を図ることを目的として、高齢者でも比較的飼育が容易な羊を町おこしの一環として導入したことが始まりだそうです。

品種は、産肉性に富み、早熟で早く増体することから、主に食用として飼育されているイギリス産のサフォーク種としました。当時、町内に飼育技術を指導する者がいなかったため、北海道立滝川農産試験場の専門研修に行ったり、ニュージーランドへの長期研修を実施し、飼育専門員の育成を図ったほか、町営の羊肉加工研究所を設立し、加工技術者を招聘して羊肉の有効活用と需要の拡大を図りました。

羊の肉は脂肪が体内に吸収されにくくヘルシーであることから、平成に入り女性を中心に一大ブームとなり、藤里町での羊飼育も平成5年のピーク時には20戸の農家が760頭ほどを飼育していましたが、その後、ブームが去り、牛肉の価格が安価になったことで、羊肉の需要が減少するとともに、飼料価格の高騰により飼育をやめる農家が続出し、平成23年度には飼育頭数が55頭までに減ってしまいました。そこから町営で羊の飼育を行うようになりました。

町営大野岱牧場80ヘクタールを活用した羊の飼育は春先から降雪前までは牧場、冬期間は敷地内にある畜舎2棟で舎飼いをしており、今年生まれた羊については、ラム用として出荷するまでの間は舎飼いしており、令和5年度の用途ごとの飼育頭数は、繁殖用136頭、ホゲット用20頭、出生数119頭の計269頭で、うち用途別出荷数は、ラム用80頭、ホゲット20頭、マトン15頭の計115頭となっているそうです。

町営施設の規模は、農家の高齢化や資材・飼料価格の高騰により、現段階では羊の増頭は実現不可能のため、飼育規模、生産量は現状維持を基本として、繁殖用の羊の更新により出生数が増えれば、若干の増加が見られる程度でありますと説明がありました。

その後、現場視察として、羊毛について、一部を町民の任意団体、白神の里手作り工房「羊毛ハウスちくちく」を見学させてもらったあと、羊肉の加工を行っている株式会社藤里開発公社が運営する農畜産物処理加工センターを見学し、担当の方から説明を伺いながら、施設内を見学し、その後、町営大野岱牧場に移動し、現場を担当している高橋技術員から説明を伺いながら牧場内を案内していただきました。

また、視察の途中で、群馬県からご夫婦で移住され、羊の飼育を始めた宮野さんの羊の牧場も立ち寄らせていただき、宮野さんご夫婦からお話を伺うことができました。

ご対応いただきました藤里町議会及び町執行部の方々には、お忙しい中、半日視察に同行していただき、感謝申し上げます、以上をもちまして農林建設常任委員会の視察研修報告とさせていただきます。

○議長（山口英司君） 視察研修ご苦労さまでございました。

以上で委員会報告を終わります。

◎議案第2号～議案第6号の質疑、討論、採決

○議長（山口英司君） 日程第2、議案第2号 高山村議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正についてから日程第6、議案第6号 職員の育児休業等に関する条例の一部改正についてまでの5議案を一括議題とします。

本件は12月4日に一括上程され、議案調査となっています。

これから一括して質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔「質疑なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山口英司君） 質疑なしと認めます。

これから一括して討論を行います。

〔「討論なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山口英司君） 討論なしと認めます。

これから議案第2号 高山村議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正についてを採決します。

本件は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

〔挙手多数〕

○議長（山口英司君） 挙手多数です。

したがって、議案第2号は原案のとおり可決されました。

次に、議案第3号 高山村特別職の職員の給与等に関する条例の一部改正についてを採決します。

本件は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

〔挙手多数〕

○議長（山口英司君） 挙手多数です。

したがって、議案第3号は原案のとおり可決されました。

次に、議案第4号 職員の給与に関する条例の一部改正についてを採決します。

本件は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

〔挙手多数〕

○議長（山口英司君） 挙手多数です。

したがって、議案第4号は原案のとおり可決されました。

次に、議案第5号 高山村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正についてを採決します。

本件は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手を願います。

[挙手多数]

○議長（山口英司君） 挙手多数です。

したがって、議案第5号は原案のとおり可決されました。

次に、議案第6号 職員の育児休業等に関する条例の一部改正についてを採決します。

本件は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

[挙手多数]

○議長（山口英司君） 挙手多数です。

したがって、議案第6号は原案のとおり可決されました。

◎議案第7号～議案第8号の質疑、討論、採決

○議長（山口英司君） 日程第7、議案第7号 高山村旅費支給条例の一部改正についてから
日程第8、議案第8号 高山村消防団条例の一部改正についてまでの2議案を一括議題とし
ます。

本件は12月4日に一括上程され、議案調査となっています。

これから一括して質疑を行います。

[「質疑なし」と呼ぶ者あり]

○議長（山口英司君） 質疑なしと認めます。

これから一括して討論を行います。

[「討論なし」と呼ぶ者あり]

○議長（山口英司君） 討論なしと認めます。

これから議案第7号 高山村旅費支給条例の一部改正についてを採決します。

本件は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

[挙手多数]

○議長（山口英司君） 挙手多数です。

したがって、議案第7号は原案のとおり可決されました。

次に、議案第8号 高山村消防団条例の一部改正についてを採決します。

本件は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

[挙手多数]

○議長（山口英司君） 挙手多数です。

したがって、議案第8号は原案のとおり可決されました。

◎議案第9号の質疑、討論、採決

○議長（山口英司君） 日程第9、議案第9号 高山村国民健康保険税条例の一部改正についてを議題とします。

本件は12月4日に上程され、議案調査となっています。

これから質疑を行います。

[「質疑なし」と呼ぶ者あり]

○議長（山口英司君） 質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

[「討論なし」と呼ぶ者あり]

○議長（山口英司君） 討論なしと認めます。

これから議案第9号 高山村国民健康保険税条例の一部改正についてを採決します。

本件は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

[挙手多数]

○議長（山口英司君） 挙手多数です。

したがって、議案第9号は原案のとおり可決されました。

◎議案第10号の質疑、討論、採決

○議長（山口英司君） 日程第10、議案第10号 高山村保育所の設置及び管理に関する条例の一部改正についてを議題とします。

本件は12月4日に上程され、議案調査となっています。

これから質疑を行います。

[「質疑なし」と呼ぶ者あり]

○議長（山口英司君） 質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

〔「討論なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山口英司君） 討論なしと認めます。

これから議案第10号 高山村保育所の設置及び管理に関する条例の一部改正についてを採決します。

本件は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

〔挙手多数〕

○議長（山口英司君） 挙手多数です。

したがって、議案第10号は原案のとおり可決されました。

◎議案第11号～議案第12号の質疑、討論、採決

○議長（山口英司君） 日程第11、議案第11号 高山村簡易水道事業の設置等に関する条例の制定についてから日程第12、議案第12号 高山村水をきれいにする事業の設置等に関する条例の制定についてまでの2議案を一括議題とします。

本件は12月4日に一括上程され、議案調査となっています。

これから一括して質疑を行います。

〔「質疑なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山口英司君） 質疑なしと認めます。

これから一括して討論を行います。

〔「討論なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山口英司君） 討論なしと認めます。

これから議案第11号 高山村簡易水道事業の設置等に関する条例の制定についてを採決します。

本件は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

〔挙手多数〕

○議長（山口英司君） 挙手多数です。

したがって、議案第11号は原案のとおり可決されました。

次に、議案第12号 高山村水をきれいにする事業の設置等に関する条例の制定についてを採決します。

本件は議案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

[挙手多数]

○議長（山口英司君） 挙手多数です。

したがって、議案第12号は原案のとおり可決されました。

◎議案第13号の質疑、討論、採決

○議長（山口英司君） 日程第13、議案第13号 高山村道路占用料徴収条例の一部改正についてを議題とします。

本件は12月4日に上程され、議案調査となっています。

これから質疑を行います。

[「質疑なし」と呼ぶ者あり]

○議長（山口英司君） 質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

[「討論なし」と呼ぶ者あり]

○議長（山口英司君） 討論なしと認めます。

これから議案第13号 高山村道路占用料徴収条例の一部改正についてを採決します。

本件は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

[挙手多数]

○議長（山口英司君） 挙手多数です。

したがって、議案第13号は原案のとおり可決されました。

◎議案第14号の質疑、討論、採決

○議長（山口英司君） 日程第14、議案第14号 指定管理者の指定についてを議題とします。

本件は12月4日に上程され、議案調査となっています。

これから質疑を行います。

9番、平形富二夫議員。

○9番（平形富二夫君） この間の全員協議会のときに、指定管理者の応募が1者出ているというお話を聞きました。その場で私から、たかやま振興公社はどのようにするのかという質問をしたときに、副村長であります社長のほうから手が挙がりました。

今回、ライバルが出たことで、たかやま振興公社にはよい刺激になったと思います。しかしながら、その1者の会社がプレゼンに参加しないとのことで、大変残念に思いました。

今回、指定管理者となる団体が1者のみの株式会社たかやま振興公社であります。一般会社では、赤字経営が続くときには継続がかなり厳しくなると思いますが、たかやま振興公社のプレゼンのときに、どのような運営計画、または業務改善計画が出たのか、お聞かせいただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○議長（山口英司君） 後藤総務課長。

○総務課長（後藤 好君） 平形議員のご質問にお答えさせていただきます。

指定管理者の選定委員会というところで、1者、たかやま振興公社、応募のあった1者について審査をさせていただきました。そのときの資料として、たかやま振興公社から提出をされた計画書というんですか、運営計画、それが示されておりますので、ご報告をさせていただきます。

計画概要でございますけれども、1つ目が理念、それから人員、それからサービスの質の確保、それから向上について、維持管理、危機・安全管理、以上のことについてそれぞれの計画が示されました。

また、これとは別に提案事項として高山の住民の雇用を重視するんだと、それから、きめ細かなサービスの実施をしていく、それから、道の駅ではスペースを有効活用して憩いの場をより多くする、ふれあいプラザではコテージとグラウンドをセットにした合宿等の誘致を検討するといったようなことも提案をされたところでございます。

こちらを審査基準に基づきまして審査をした結果、当該者、たかやま振興公社ということになりますけれども、既に指定管理者をやっている実績もある、それから、村の100%出資法人でもあるというようなところを総合的に判断いたしまして、適切であろうという判断をしたところでございます。

以上です。

○議長（山口英司君） 9番、平形議員。

○9番（平形富二夫君） 今、運営計画を聞きました。たかやま振興公社1者のみでありますから、たかやま振興公社には運営計画を守りながら黒字に向かって頑張っていたいただきたいと思えます。

以上です。

○議長（山口英司君） 8番、後藤議員。

○8番（後藤 肇君） 今、平形議員のほうから運営計画が示されて、その説明があったわけなんですけれども、その中で、例えば1点、本年度に関しては、これを中心として1年間守り通していくとか、そういう文面があってもいいのではないかという気がするわけです。

ただ、今の答弁ですと、失礼な言い方になっちゃうかもしれないですけれども、通例の採用になった説明文だけというような感じを受けるわけです。ですから、その辺がやはりちょっと突っ込んだ話をしていかないと、通り一遍だけのことで言ってしまうと、また例年に倣いの感じが受けるんですけれども、総務課長としてはその辺どう捉えているか、ちょっと答弁お願いいたします。

○議長（山口英司君） 後藤総務課長。

○総務課長（後藤 好君） 後藤肇議員のご質問でございます。

委員会での審査基準の中、その中には、事業計画に沿った管理を安定して行う能力を有することという項目が入っております。これについても、細かいところまで審査ができるわけではございませんけれども、書面審査ということにはなりますけれども、その計画を見て、今やっているところも盛り込まれているということもあります。

それから、資料の中に損益計算書、決算報告書というものをつけられております。コロナであった令和2年度にはかなり大きな赤字であったものが、令和3年度には10分の1程度まで圧縮をされているというようなこともございまして、このままの状況で推移をするならば、コロナ一過ということもあり、それも戻るだろうということも加味した上で、経営は上向いていくのではないかとというようなところを考えたところでございます。

以上です。

○議長（山口英司君） 8番、後藤議員。

○8番（後藤 肇君） 今、課長の説明で、コロナとか今までなかったことが起きていますんで、その辺考えると、そういったことでいいのかなんていう感じはするんですけれども、もう1点、執行部側としては依頼するわけですから、どういった点に重点を置いてやっていただきたいとか、その辺のこういう言葉というんですか、何かそういうものもあって、ただ

指定管理者へお任せしますよ、はい、そうですかということだけではなくて、今、課長が言った損益とかそういうものは、にらむと通常時に戻ってきていますから、見込めるんじゃないか、それに対して執行部側として、もう少しここを突っ込んでこういう話をして、年間を通してやっていただきたいとか、そういう要望もあったんじゃないかと思うんですけども、その辺をちょっとご披露いただければと思います。

○議長（山口英司君） 平形副村長。

○副村長（平形郁雄君） 後藤議員のご質問でございますけれども、執行部としての振興公社への要望といたしますか、その内容についてということでございますけれども、執行部といたしましては、公共施設のそれぞれの各施設の効率性、また、サービスの向上を図るとともに、公社の持っている技術や知識、これを集結して、創意工夫によりまして地域活性化の中心となれるような、また、地域商社を目指し、村の財源確保につなげられるような努力をさせていただきたいというようなことを申し上げております。

以上です。

○議長（山口英司君） 8番、後藤議員。

○8番（後藤 肇君） そういった目標でお話しされているということでありまして、今後は期待できるプラザになるんじゃないかなと思いますので、ぜひ前向きな形で我々も応援して、少しでも赤字が少なくなるような施設にできればと思いますので、よろしく願いいたします。

○議長（山口英司君） ほかに質疑ありませんか。

[発言する者なし]

○議長（山口英司君） 質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

[「討論なし」と呼ぶ者あり]

○議長（山口英司君） 討論なしと認めます。

これから議案第14号 指定管理者の指定についてを採決します。

本件は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

[挙手多数]

○議長（山口英司君） 挙手多数です。

したがって、議案第14号は原案のとおり可決されました。

◎議案第15号～議案第22号の質疑、討論、採決

○議長（山口英司君） 日程第15、議案第15号 令和5年度高山村一般会計補正予算（第6号）から日程第22、議案第22号 令和5年度高山村水をきれいにする事業特別会計補正予算（第2号）までの8議案を一括議題とします。

本件は12月4日に一括上程され、議案調査となっています。

これから質疑を行います。

最初に、議案第15号について質疑を行います。

なお、質疑の際にはページ及び事業名称など、質問箇所を明示してからお願いします。

8番、後藤議員。

○8番（後藤 肇君） ページでいきますと、25ページ、農林水産の畜産振興費で、内容的にはこの前説明を受けて、ある程度理解はしているんですけども、その中のことで、今、牛を放牧しているわけなんですけれども、それを5年以内ぐらいで廃止する旨の説明が課長のほうからあったんです。廃止するのではなく、緬羊と並行してこういう運営できないかという質問をしたんですけども、それに対してはまだ回答は、なかなか先のことですから難しいというところがあると思うんです。緬羊に関してはまだスタートして、現実にはいないことですから。

ただ、高原牧場として観光とかそういうものを目指していくのであれば、やはり両立して、それには難しい問題が出てくるかと思うんですけども、そのほうがやはりちょっと魅力はあるのではないかと。緬羊はちょっと立ち上げが行ったり来たりしている雰囲気伺っていますんで、その辺を考えると、ある程度、例えば廃止ではなくて、3年先まで様子を見て、両立して、両方できればやはり人寄せには、1つよりは2つあったほうが良いと思うんですね。その辺のタイミングを図りながら進めていけたほうが、私としてはいいのではないかと、思うんですけども、その辺の考えについてもう一度説明をお願いいたします。

○議長（山口英司君） 平形農林課長。

○農林課長（平形英俊君） 後藤肇議員からのご質問にお答えいたします。

先日の説明の中では、3年後に放牧和牛を取りやめて、その後は羊一本でいくということで説明させていただいたんですが、まず、繁殖和牛の管理人の方が、今現在、みなかみ町の大峰牧場のほうから派遣されて、こちらのほうに兼務で来ていただいております。

そちらのほうが、みなかみ町さんのほうから派遣で来てもらってはいるんですが、その辺がまた不明確な点もあったりしたりしまして、また、繁殖和牛については、40頭下回るともう経営が成り立たないということで、それ以下になると、もう多分、経営的には難しいということで、畜主の方とは以前話をさせていただいて、3年後ぐらいには高山のほうから引き上げるという話では、今のところはなっているんですが、今後について、まだ羊のほうが本格的なめどが立っていないものですから、そちらについても羊の業者、また、畜主であるみなかみ町の原澤牧場さんのほうとまた相談をして、その辺ちょっとまた今後について確認をしていければと思っております。

以上です。

○議長（山口英司君） 8番、後藤議員。

○8番（後藤 肇君） そういったことであれば、ぜひ両立てじゃないんですけども、二本立てでぜひ検討していただいて、3年先には廃止とかということではなくて、検討してみますとか、そういう形のほうはまだスタートしてない、先がまだ分からないわけですから、いい方向かななんて思うんですけども、その辺でぜひ、廃止を目前として考えるのではなく、両立して、牛を預かっているだけで赤字が進んであるんであればやめるしかないんですけども、そういったことは今の段階ではないわけですので、ぜひその辺も踏まえた形で、ぜひよりよいやはり牧場にしていくためには、1種類より2種類、2種類より3種類、病原菌とかいろいろあろうかと思えますけれども、その辺を踏まえた中で、ぜひ検討していただければと思います。

以上です。

○議長（山口英司君） 1番、渡邊議員。

○1番（渡邊裕治君） 30ページの10款教育費、2項小学校費、その下の中学校費、9月補正で校舎外壁補修工事が予算化した後に、また施設修繕という形で事業が出ましたので、この説明をお願いしたいのと、32ページの10款5項社会教育費、社会教育費の説明の中で、いぶき公園の施設修繕で、トイレ改修と、あと、その周辺の横断歩道の移設準備の経緯等についてお願いいたします。

○議長（山口英司君） 金井教育課長。

○教育課長（金井 等君） 渡邊議員の質問にお答えいたします。

まず最初に、今回、小中学校施設管理事業、施設修繕費において、校舎の高圧洗浄の費用として小学校で60万5,000円、中学校で46万9,000円の補正をお願いしておりますが、以前

から学校を訪れる保護者や村民から、校舎も40年を過ぎると汚れが目立つといったような話が出ておりました。教育委員会でもいずれは洗浄や外壁の塗装といった長寿命化工事を行わなければならないと考えていたところなのですが、9月補正で校舎の外壁補修工事の予算を承認していただきまして、現在施工しておりますが、100万円以上の金額が足場工でかかっており、校舎全体に足場はかかっていないんですけれども、洗浄の届く範囲だけでも、校舎の洗浄はできないかと協議を行ったところ、業者の方も高所作業車も入れるのでかなりの面積を洗浄できるのではないかと意見をいただきました。

せっかく足場を組むのであれば、補正予算をお願いして校舎の洗浄を実施することによりまして、新たな洗浄工事を行うのに比べ予算面でも軽減が図れるため、お願いするものでございます。

次に、いぶき公園施設管理事業、施設修繕料において、いぶき公園の屋外トイレの改修工事で66万6,000円の補正ですが、女子トイレの和便器の污水管に木の根が張ってしまいまして、汚水が流れない状態となったため改修するものです。

昨年、男子トイレの和便器も同じ状況となり、污水管の木の根を取り除き、洋便器に交換する工事を実施いたしました。業者の説明によりますと、和便器は便器と污水管の接合部分がのりづけできていないため、のりづけができないそうでございます。のりづけができていないために、どうしても年数がたつと隙間が開いてしまい、そこから木の根が入ることがあるそうです。洋便器に替えますと、便器と污水管がのりづけしてあるので、このような現象は起こらないということで、污水管の根を取り除き、洋便器を取り付ける工事をお願いする内容となっております。

次に、横断歩道移設付帯工事で140万8,000円の補正内容ですが、現在、こども園園庭入り口に設置されている横断歩道を学童保育へ通う子供たちが渡って、こども園の擁壁に張りつくような形で歩道の設置されていないところを歩いて通っているような状況でございます。

毎年実施する青少年育成推進委員による通学路安全点検で、冬場、除雪を行うと、車道部分を歩かなければならないためとても危険なので、横断歩道をこども園職員玄関前に移設してほしいとの要望が出されました。毎年春に役場総務課、建設課、中之条土木事務所、吾妻警察署と教育委員会で開催している通学路合同点検の場で、令和2年度横断歩道の移設をお願いしましたが、中学校の校門前の横断歩道と距離が基準より短いので移設は難しいとの見解でした。

しかし、こども園職員玄関の花壇を撤去して子供の通路を確保したり、毎年要望を上げる

ことで許可になることがあるので、要望を上げ続けてほしいと、吾妻警察署の助言をいただきました。

今年度まで毎年要望を上げた結果、この10月にこども園職員駐車場の防護柵の移設や縁石の付け替え工事等の横断歩道移設に係る附帯工事を実施すれば移設してくれるとの回答を得ることができまして、今回、補正予算で子供たちへの安全確保をお願いするものでございます。

以上、渡邊議員の質問への答弁とさせていただきます。

○議長（山口英司君） 1番、渡邊議員。

○1番（渡邊裕治君） 課長、答弁ありがとうございました。

横断歩道移設は、子供たちが安全安心に通えるようになるので、とても安堵しております。

また、小学校PTAや児童館利用者から随分と前から要望が出ておりまして、私も小学校のPTA本部役員当時、関係者をお願いをさせていただいた経緯があります。横断歩道移設に向けて対応していただいたことで、関係各位に感謝申し上げます。

1点、ちょっと確認したいんですけども、今、こども園の駐車場として出入口になっているかと思うんですが、あれは完全に歩道にして塞がるような感じなんではないでしょうか。形状がちょっとどういうふうに、ちょうど今、コーンが立っていたので、その点お聞かせいただければと思います。

○議長（山口英司君） 金井教育課長。

○教育課長（金井 等君） 現在のちょうど職員駐車場の入り口のところに横断歩道が移設される予定になっておりますので、それよりも北側に少し入り口をずらすということでございます。その関係で、横断歩道の部分の縁石を取り外し、逆に新しい入り口のところに入り口を設けるため、縁石を利用するような附帯工事となっております。

○議長（山口英司君） 1番、渡邊議員。

○1番（渡邊裕治君） ありがとうございます。

この道路は速度規制がなくて、また、こども園のスクールバス車庫があって、若干見通しが悪いカーブということもありますので、今後もこれまでと同様に徐行など、通行者への周知をいただければと思います。よろしく願いいたします。

以上です。

○議長（山口英司君） 5番、飯塚議員。

○5番（飯塚武久君） ページ、24ページをお願いします。

24ページの説明欄の下から3行目、環境保全型農業直接支払交付金についてお尋ねをいたします。

将来にわたって持続的な農業生産を行っていくためには、有機農業を広めていくことが非常に大切だと言われております。そうした中で、本村はオーガニックビレッジ宣言を行おうとしていますが、この環境保全型農業直接交付金は、生産者を応援する非常に有効なものだと思います。

そこで、本村におけるその取組の概要についてお尋ねします。また、本村では、本年度を目標にオーガニック宣言を予定しているということですが、その取組状況についてお伺いします。よろしくお願ひします。

○議長（山口英司君） 平形農林課長。

○農林課長（平形英俊君） 飯塚議員からのご質問にお答えします。

まず、環境保全型農業直接支払交付金の現在の取組状況についてでございますが、こちら、令和4年度の実績では、取組面積が764アール、取組人数は、高山COA研究会のメンバー5名でございます。

5年度につきましてはこれからの申請になるため、現時点での概算ですが、取組面積が906アール、取組人数のほうは昨年同様5名となります。

また、今後の取組予定等につきましてなんですが、有機農業の推進と並行しまして、取組面積と取組人数の拡大を目指しております。

こちら、課題として挙げられるものは、化学肥料、化学合成農薬の使用を5割以上低減するというのが原則となるため、除草や病虫害対策に係る農業者の負担や労力を軽減する技術面のサポートが不十分なことが挙げられます。こちらについては、今年度宣言を予定しておりますオーガニックビレッジ宣言に伴う有機農業推進事業において、農業者向けの技術講習会などを開催し、栽培技術を学ぶ場を設けていきたいと考えております。

本村は、小集団、小区画の農地が多いため、環境保全型農業や有機農業には適した環境と言えますので、今後も取組面積、取組人数が増えるよう努めてまいりたいと思っております。

また、オーガニックビレッジ宣言の進捗状況でございますが、こちら、オーガニックビレッジ宣言につきましては、10月20日に甘楽町が初めて宣言を行いました。高山村では来年3月に宣言を行う予定で現在進めております。宣言を出すに当たり、まず、5か年計画の有機農業実施計画を策定し、5年後の目標と目標達成のために実施する取組を計画する必要があります。この計画作成のため、今年6月に有機農業産地づくり推進協議会を設立し、

協議会の委員さんには、有機農業者の方をはじめ、加工流通に関わる方、販売に関わる方、農業委員会、村議会議員、給食センター職員など、計8名で構成をされております。

この協議会を中心に実施計画の内容を検討し、現在、暫定版を策定し、意見公募を10月20日から12月8日本日まで実施をしております。その後、来年1月に県と国へ計画書を提出し、そこで計画を確定させる予定……失礼しました。承認を得てからオーガニックビレッジ宣言を3月に予定しておりますが、承認の状況によっては2月に前倒しする可能性もあります。こちらについては、オーガニックビレッジ宣言を出す前には、改めて議会及び農業委員会等で説明のほうをさせていただきたいと思っております。

質問については以上となります。

○議長（山口英司君） 5番、飯塚議員。

○5番（飯塚武久君） 分かりました。

直接支払交付金、これについても今後拡大していくということで、ぜひよろしく願いいたします。また、オーガニック宣言についても3月にはできると、場合によっては2月にもできるという状況で、皆さん本当に頑張っているなというふうに思っております。

いずれにしても、先ほど申し上げましたが、将来にわたって継続的な、持続的な農業生産を行っていくためには、有機農業を広めていくことが非常に大事でございます。既に欧米では農地面積に占める有機農業の割合が日本の数十倍というふうになってございます。国も自治体も本気で今取り組んでございます。本村もこれに遅れないように、しっかりと有機農業の取組、よろしく願いいたします。

余談でありますけれども、今日、上毛新聞一面の下のほうにあったんですけれども、群馬県においては有機農業の販売マップ、デジタルマップだそうです。こういったものを作ったということで、啓発に頑張っているということで、内容としますと、販売店だとか、それから飲食店、有機農業を扱っているところですね。これを60店舗ほど紹介してございます。ちょっとのぞいてみたら中山盆地も入っているということで、非常に安心をいたしました。職員の方が努力されて、ぜひということで掲載をしたんだというふうに理解しております。ぜひ、有機農業については万全な体制を取って進めていきたいと思っております。

大きい話をしますと、有機農業、これをなくしては世界の食料事情も改善されない。特に日本においては食料自給率が38%ということで、先進国の中で最低でございます。有機農業を広めることによって日本の食料自給率も自然と上がってくるのではないかと考えております。

ぜひ、皆さん協力し合って、これを進めていただきたいと思います。よろしくお願ひします。

以上です。

○議長（山口英司君） ほかに質疑はございませんか。

9番、平形富二夫議員。

○9番（平形富二夫君） ページ、33ページの10款1目であります。

給食センター施設管理の電気料が、今回128万ということが出ておりました。これはエアコンを入れたからだと説明いただきました。私たちが給食センター視察に行ったときには、働いている人たちが、暑くてかなわないから早くエアコンを入れてもらうように役場へ言ってくれやなんてよく言われました。ようやくエアコンが入りました。エアコンが入ったので、涼しくていいや、それだけじゃなくて、働く人たちにどのような変化が見られたか質問いたします。

また、エアコンを入れたことで、給食センター内でどのような相乗効果が出たのか、教育課長に質問をいたします。よろしくお願ひいたします。

○議長（山口英司君） 金井教育課長。

○教育課長（金井 等君） 平形富二夫議員の質問にお答えいたします。

高山村の子供たちに提供する学校給食の安心安全を確保するために、議員皆様のご理解もありまして、令和4年度に改修工事が完了し、今年度国の補助を受け、エアコンの設置工事を実施いたしました。

以前にもお話したところですが、平成29年度に群馬県教育委員会の学校給食安全衛生管理巡回指導で、学校給食衛生管理基準に沿わない点を指摘され、工事を実施したわけでございます。基準では、調理作業中の温度は25度以下、湿度80%以下に保たれるよう空調を整えることとされており、今回、空調工事によりまして基準を満たすことができしております。

エアコンを設置しての効果ですが、まず、調理員の環境が整ったことで仕事の効率が上がっております。以前は、夏場は汗だくになって調理中に着替えたり、何度も水分補給を取らないと調理ができなかったと聞いております。また、食材料がしなびたり傷んだりというようなところも効果があり、給食に汗が入るといったような衛生面でも改善されたと報告を受けております。何より、調理員皆さんが健康で働きやすい環境の中で作っていただくことで、安心して安全な給食が提供できると考えておりますので、今回エアコンを設置したことで働く皆さんが大変喜んでっていると聞いて、効果が出ていると感じております。

以上、平形富二夫議員の質問への答弁とさせていただきます。

○議長（山口英司君） 9番、平形富二夫議員。

○9番（平形富二夫君） 今、課長のほうから答弁をいただきまして、大変うれしく思います。

工事が終わったことで、その場で終わるんじゃなくて、工事が終わった後、どのように改善されて、どのようによくなったかというのをチェックするのも仕事だと思いますので、教育委員会だけでなく、各課の課長さんにもお願い申し上げまして、答弁を終わります。

○議長（山口英司君） ほかに質疑はありませんか。

[発言する者なし]

○議長（山口英司君） これで質疑を終わります。

次に、議案第16号から議案第22号までの7議案について一括して質疑を行います。

なお、質疑の際には会計名、ページ及び事業名称など、質問箇所を明示してからお願いします。

6番、後藤明宏議員。

○6番（後藤明宏君） 議案第22号 高山村水をきれいにする事業について、ページ数7ページなんですけれども、2款1項4目戸別浄化槽設置事業管理費について質問いたします。

合併処理浄化槽修繕費が50万円ありますが、どのような修繕が何件でしょうか。また、浄化槽の整備が始まり20年余りになると思いますが、今後の修繕費が増えてくるのでしょうか。その辺をちょっとお聞かせください。

○議長（山口英司君） 飯塚建設課長。

○建設課長（飯塚優一郎君） 後藤明宏議員の質問にお答えいたします。

合併浄化槽の修繕料につきましては、ブロアーの修理や交換が主なものになります。浄化槽本体の修繕もまれにありますけれども、浄化槽の本体については高額な修理費が発生することがございます。

令和5年度については11月末までに、ブロアーの修理については26件、ブロアーの交換が6件、マンホールの蓋の交換等が4件、浄化槽本体の修理については2件、現在行われております。今回、浄化槽本体の修理が2件と出ておりますので、今後の予算に不足を生じるおそれがあることから、補正予算をお願いするものになります。

また、今後の修繕料についてなんですけれども、市町村設置の合併浄化槽につきましては、平成14年から平成22年度までに整備されておりまして、古いものではもう21年経過しております。過去の修繕料の実績等を見ても、近年金額が多くなってきておりますので、古くな

ったものは不具合も増えると思います。今後増加していく傾向ではないかというふうに考えております。

以上です。

○議長（山口英司君） 6番、後藤明宏議員。

○6番（後藤明宏君） このように修繕費がこれから増えてくると思いますので、よく浄化槽のほう管理していただき、なるべく費用のかからないような方法を取っていただければと思います。

次に、村管理の浄化槽、農集排へのつなぎ込み率は現在どのくらいでしょうか。

○議長（山口英司君） 飯塚建設課長。

○建設課長（飯塚優一郎君） 農業集落排水のつなぎ込み率につきましては、現在78.7%になっております。令和5年度4件のつなぎ込みが増えております。市町村設置によります村で管理しております浄化槽については、現在94.5%のつなぎ込み率になっております。本年度1件のつなぎ込みがございましたので、少なからずとも増加傾向にはあると思います。

以上です。

○議長（山口英司君） 6番、後藤明宏議員。

○6番（後藤明宏君） パーセンテージを見ますと年々増えているように思いますので、このまま100%に近い状態になっていただければと思います。

次に、農集排のつなぎ込み関連について建設課長にお聞きいたします。

トイレのリフォームを行う場合、外構工事ですけれども、そのつなぎ込み費用もリフォーム補助金の対象になりますでしょうか。

○議長（山口英司君） 飯塚建設課長。

○建設課長（飯塚優一郎君） 農業集落排水へのつなぎ込みのリフォームの件なんですけれども、農業集落排水のつなぎ込みは、東地区、こちらが平成17年度から、中央地区では平成20年度からつなぎ込みを行っております。リフォーム補助金が交付されるようになったのは平成24年度からとなるので、補助金の前につなぎ込みを完了した家庭があるため、不公平となることから、つなぎ込みに関する部分の工事については、リフォーム補助金の対象とはしておりません。

ですから、トイレの水洗化等をする場合には、リフォーム補助金のほうは交付されるということになりますが、つなぎ込みの部分については対象外とさせていただいているところでございます。

以上です。

○議長（山口英司君） 6番、後藤明宏議員。

○6番（後藤明宏君） 分かりました。

つなぎ込み自体も、できれば補助金のほうで使えるといいんですけども、期間が、前につなぎ込んだところと違うということで、理解いたしました。

どうもありがとうございました。

○議長（山口英司君） 質疑ありませんか。

[発言する者なし]

○議長（山口英司君） これで質疑を終わります。

これから議案第15号から議案第22号までの8議案について一括して討論を行います。

[「討論なし」と呼ぶ者あり]

○議長（山口英司君） 討論なしと認めます。

これから議案ごとに採決を行います。

最初に、議案第15号 令和5年度高山村一般会計補正予算（第6号）を採決します。

本件は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手を願います。

[挙手多数]

○議長（山口英司君） 挙手多数です。

したがって、議案第15号は原案のとおり可決されました。

次に、議案第16号 令和5年度高山村国民健康保険特別会計補正予算（第2号）を採決します。

本件は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

[挙手多数]

○議長（山口英司君） 挙手多数です。

したがって、議案第16号は原案のとおり可決されました。

次に、議案第17号 令和5年度高山村後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）を採決します。

本件は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手を願います。

[挙手多数]

○議長（山口英司君） 挙手多数です。

したがって、議案第17号は原案のとおり可決されました。

次に、議案第18号 令和5年度高山村介護保険特別会計補正予算（第1号）を採決します。
本件は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

[挙手多数]

○議長（山口英司君） 挙手多数です。

したがって、議案第18号は原案のとおり可決されました。

次に、議案第19号 令和5年度高山村土地開発事業特別会計補正予算（第1号）を採決します。

本件は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

[挙手多数]

○議長（山口英司君） 挙手多数です。

したがって、議案第19号は原案のとおり可決されました。

次に、議案第20号 令和5年度高山村農業用水事業特別会計補正予算（第1号）を採決します。

本件は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

[挙手多数]

○議長（山口英司君） 挙手多数です。

したがって、議案第20号は原案のとおり可決されました。

次に、議案第21号 令和5年度高山村簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）を採決します。

本件は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

[挙手多数]

○議長（山口英司君） 挙手多数です。

したがって、議案第21号は原案のとおり可決されました。

次に、議案第22号 令和5年度高山村水をきれいにする事業特別会計補正予算（第2号）を採決します。

本件は議案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

[挙手多数]

○議長（山口英司君） 挙手多数です。

したがって、議案第22号は原案のとおり可決されました。

◎委員会の閉会中継続調査（審査）申出書について

○議長（山口英司君） 日程第23、委員会の閉会中継続調査（審査）申出書についてを議題とします。

お諮りします。申出書のとおり閉会中の継続調査（審査）とすることにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山口英司君） 異議なしと認めます。

したがって、申出書のとおり、閉会中の継続調査（審査）とすることに決定しました。

◎議員派遣について

○議長（山口英司君） 日程第24、議員派遣についてを議題とします。

お諮りします。議員の派遣については、別紙議員派遣についてのとおり派遣したいと思います。ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山口英司君） 異議なしと認めます。

したがって、議員の派遣については、別紙議員派遣についてのとおり派遣することに決定しました。

◎閉会の宣告

○議長（山口英司君） これで本定例会に付議された案件は全て終了しました。

会期5日間にわたり慎重審議、大変ご苦労さまでした。

以上をもちまして、令和5年第4回高山村議会定例会を閉会します。

ありがとうございました。

閉会 午後11時11分

地方自治法第123条の規定により署名する。

令和 年 月 日

議 長

署 名 議 員

署 名 議 員